

平成26年度北海道文化財年報



道指定有形文化財（建造物）
「北海道家庭学校礼拝堂」（平成 26 年度指定）

平成 2 7 年 7 月

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課

はじめに

北海道には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、次の世代に確実に守り伝えていく必要があります。

文化財を保護するためには、調査や保存・整備・修理だけではなく、公開や情報発信を積極的に行い、その価値や魅力を多くの人々が共有することが大切です。このため、北海道教育委員会では、文化財に対する価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、文化財に親しむ機会の提供や文化財に関する多様な情報の発信などを通して、文化財に親しむ環境づくりに取り組んでいます。

この年報では、「開拓使文書」など、新たに指定・登録された文化財や、縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取り組み、北海道文化財保護強調月間中の事業、北海道教育委員会が実施した文化財の各種調査や保存・整備、普及活用事業など、この一年間の文化財保護の歩みについて、写真・イラストを用いてわかりやすく紹介しています。

この年報をご活用いただき、文化財をより身近に感じていただく機会になれば幸いです。

●この文化財年報に関するお問い合わせ先

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課 文化財保護グループ

電話：011-204-5749

FAX：011-232-1076

メール：kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ：<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/index.htm>

【表紙の写真】

○ 道指定有形文化財「北海道家庭学校礼拝堂」（建造物）について

「北海道家庭学校礼拝堂」は、大正5（1916）年に着工し、同8（1919）年に竣工した。学校創設者の留岡幸助の方針によって、少年たちを自立させるための心の拠り所として建築された建造物であり、道内に現存する教会建築の中でも大正期の形態をとどめる希少な建物であることから、平成27年3月31日付けで、道指定有形文化財（建造物）に指定しました。

目 次

I	平成26年度文化財保護の主なあゆみ	P 1
1	新たに指定・登録された文化財	P 2
(1)	国指定文化財	P 3
(2)	道指定文化財	P 6
(3)	国登録文化財	P 7
2	世界遺産登録を目指して	P 9
(1)	世界遺産登録に向けた体制と事業について	
(2)	4道県共通ホームページの作成について	P 10
(3)	北海道の独自事業について	P 11
(4)	「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について	P 12
3	文化財保護強調月間について	P 13
4	アイヌ民俗文化財の保存・伝承	P 16
(1)	アイヌ民俗文化財調査	
(2)	アイヌ民俗文化財保存・伝承活用事業	
5	指定文化財の保存整備(国庫補助事業)	P 17
(1)	重要文化財	
(2)	選定	P 20
(3)	史跡・名勝	P 21
6	埋蔵文化財保護のための事前協議	P 23
7	埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)	P 25
8	発掘調査	P 28
II	資料編	P 29
1	文化財	
(1)	文化財の指定状況(国指定・道指定)	
(2)	国指定文化財一覧	P 30
(3)	道指定文化財一覧	P 36
(4)	管内別市町村指定文化財一覧	P 42
(5)	管内別登録文化財	
(6)	登録文化財一覧	P 43
(7)	平成26年度北海道文化財保護強調月間実施事業一覧	P 47
(8)	平成26年度文化財パトロール	P 54
(9)	平成26年度史跡名勝天然記念物の現状変更等許可件数	
(10)	平成26年度銃砲刀剣類の登録状況	

2	埋蔵文化財・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 55
	(1) 市町村別埋蔵文化財包蔵地一覧	
	(2) 平成 26 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と 北海道実施の所在・試掘調査一覧・・・・・・・・	P 56
	(3) 平成 26 年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧	
	(4) 平成 26 年度管内別発掘調査一覧	
	(5) 平成 26 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数	・・・・ P 57
	(6) 平成 26 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等	
	(7) 平成 26 年度出土文化財認定件数と出土遺物量	
	(8) 平成 26 年度出土文化財譲与件数	
3	その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 58
	(1) 北海道教育推進計画	
	(2) 平成 26 年度北海道文化財保護審議会	・・・・ P 59
	(3) 北海道文化財保護審議委員一覧	
	(4) 平成 26 年度銃砲刀剣類登録審査会	・・・・ P 60
	(5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員	
	(6) 北海道立埋蔵文化財センター	
	(7) 文化財情報の発信	・・・・ P 62
	(8) 文化財関係機関・団体リンク	・・・・ P 63

I 平成26年度文化財保護の主なあゆみ

○ 新指定(国指定・道指定・国登録)の文化財

・国の指定では、札幌市の「開拓使文書」が重要文化財(歴史資料)に指定されました。

また、松前町・厚沢部町にある「松前氏城跡福山城跡館城跡」の福山城跡北東部にある石垣部分を含む民有地4筆が追加指定され、国史跡「モシリヤ砦跡」「鶴ヶ岱チャランケ砦跡」は、釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町内の8箇所のチャシ跡とともに「釧路川流域チャシ跡群」として、再指定・統合されました。

・国の登録文化財では、大正期の佇(たたず)まいを伝える札幌市遠藤家関係建造物6件及び日高町「飯田家住宅座敷棟」1件が登録有形文化財(建造物)に登録されました。

○ 世界遺産登録へ向けた取組

北海道・青森県・岩手県・秋田県などが共同提案した「北海道・北東北を中心とする縄文遺跡群」が、平成21年1月5日にユネスコの世界遺産暫定リストに記載されました。

4道県と関係14市町は、世界遺産登録をめざし、推薦書案の作成や登録推進のための情報発信などを行いました。

○ 北海道文化財保護強調月間の取組

北海道教育委員会は関係機関5者と共同で、平成20年度に毎年10月8日～11月7日を北海道文化財保護強調月間に設定しました。この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的としたものです。

平成26年度は期間中に、90市町で、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座や文化財に関連するイベントなど231の事業が実施され、多くの方が参加しました。

○ アイヌ民俗文化財の保存・伝承把握

金成(かんなり)マツノートの整理・翻訳やアイヌ文化財専門職員等研修会を実施しました。

○ 文化財の保存整備

北海道や市町村が主体となって、国庫補助を活用した重要文化財の保存・修理や史跡整備などの文化財の保存整備事業を23件実施しました。

○ 埋蔵文化財の保護

埋蔵文化財については、開発事業に伴う129件の所在調査・試掘調査を実施し、開発計画の変更や、事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財の発掘調査は84件が実施されました。

この他にも、様々な取り組みを行っています。詳しくは、この年報をご覧ください。

1 新たに指定・登録された文化財

国の関係では、重要文化財「開拓使文書」(歴史資料)の1件、史跡の追加指定が1件、統合・追加指定・名称変更が1件、登録有形文化財(建造物)の登録が7件あり、道の関係では有形文化財(建造物)の指定が1件あります。

(1) 国指定文化財

- 重要文化財(歴史資料)
「開拓使文書」(平成26年8月21日付)
- 史跡〔追加指定〕
「松前氏城跡 福山城跡 館城跡」(平成27年3月10日付)
- 史跡〔追加指定・統合・名称変更〕
「釧路川流域チャシ跡群」(平成27年3月17日付)

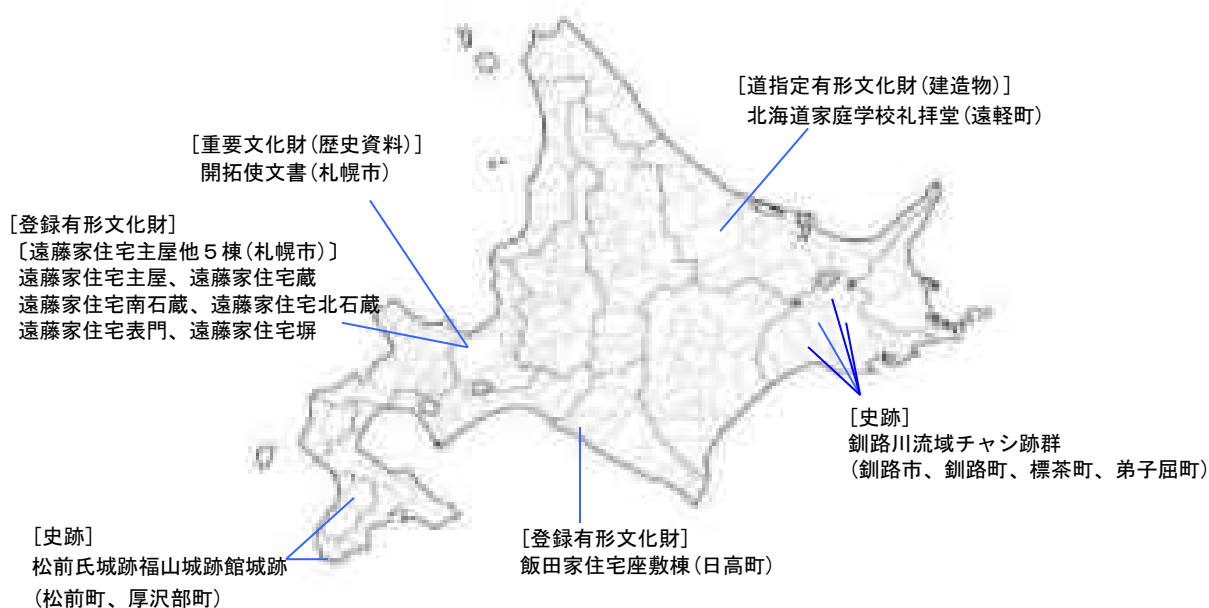
(2) 道指定文化財

- 道指定有形文化財(建造物)
遠軽町「北海道家庭学校礼拝堂」(平成27年3月31日付)

(3) 国登録文化財

- 登録有形文化財(建造物) 7件
[平成26年10月7日付](遠藤家関係)
①「遠藤家住宅主屋」 ②「遠藤家住宅蔵」 ③「遠藤家住宅南石蔵」
④「遠藤家住宅北石蔵」 ⑤「遠藤家住宅表門」 ⑥「遠藤家住宅塀」
[平成26年12月19日付]
①「飯田家住宅座敷棟」

新指定・登録文化財の位置



(1) 国指定文化財

● 重要文化財（歴史資料）

「開拓使文書」（かいたくしぶんしょ）

【所在地】北海道札幌市中央区北3条西6丁目 北海道立文書館内

【員 数】7, 832点

【解 説】開拓使文書とは、明治2（1869）年に設置され、明治15（1882）年まで北海道・千島・樺太（明治8：1875年まで）を管轄した北海道開拓使が管理し、後に北海道庁に引き継がれた近代行政文書です。文書は、開拓使札幌本庁・東京出張所・各支庁（函館・根室・樺太など）及びその前身である箱館府等において、作成、収受、編綴されたもので、明治政府による北海道の近代化の諸政策を知る上の基本資料であり、わが国の近代史、北海道史、アイヌ史等の研究上において、重要な史料です。

【問い合わせ先】電話 011-231-4111（代表）

ホームページ：http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/mnj/ju_bun/kaitakushi.htm

○開拓使文書



● 史跡〔追加指定〕

「松前氏城跡 福山城跡 館城跡」(まつまえしろあと ふくやまじょうあと たてじょうあと)

※「福山城跡」に係る追加指定

【指定内容】面積 1,373.62 m²の指定地追加 (全指定地面積 148,594.67 m²)

【所在地】松前郡松前町(福山城跡)

【解説】福山城は、松前藩初代藩主松前慶廣によって慶長 11(1606)年に築城された、蝦夷地唯一の大名松前氏の居城として機能した城です。今日残る城跡は、幕府が嘉永 2(1848)年当時の 11 代藩主松前崇廣に北門防備のため城の修築を命じ、安政元(1854)年に完成したもので、日本式築城の最後の例として知られており、海岸に向かって舌状に張り出した丘陵上に築かれ、東・南・西は崖地形を活かした縄張りが行われ、北側は大館から移転させた寺院を集中的に配して防御のための郭を構成し、三層天守や 7 基の台場を備えています。

福山城は、昭和 10(1935)年、北海道における幕末、維新期の情勢や松前氏の歴史などを知る上で重要であることから、国の史跡に指定されましたが、今回は、福山城跡北東部にある石垣部分を含む民有地 4 筆が追加指定されました。

【問い合わせ先】松前町教育委員会社会教育課 電話 0139-42-3060

ホームページ：<http://www.e-matsumae.com/>

○追加指定範囲



● 史跡〔統合・追加指定・名称変更〕

「釧路川流域チャシ跡群」（くしろがわりゅういきちやしあとぐん）

【指定内容】全指定地面積 55,579.48 m²

（既指定分面積 21,592.03 m²、追加指定分 33,987.45 m²）

【所在地】釧路市、標茶町、弟子屈町、釧路町

【解説】これまで単独で指定されていた国史跡「モシリヤ砦跡」「鶴ヶ岱チャランケ砦跡」は、釧路町、標茶町、弟子屈町内の9箇所のチャシ跡とともに「釧路川流域チャシ跡群」として、再指定・統合されました。

指定された史跡は次のとおりです。

〔釧路川流域チャシ跡群〕（全11カ所）

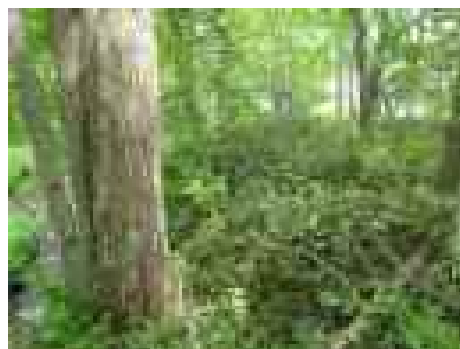
釧路市内	モシリヤチャシ跡 ハルトルチャランケチャシ跡	旧「モシリヤ砦跡」 旧「鶴ヶ岱チャランケ砦跡」
釧路町内	テンネル第1チャシ跡 タブコプチャシ跡	
標茶町内	シラルトロ第2チャシ跡 シラルトロ第1チャシ跡 マタコタンチャシ跡	
弟子屈町内	プイラクニチャシ跡 クツチャロシペ第1チャシ跡 クツチャロシペ第2チャシ跡 ウランコウシチャシ跡	

【問い合わせ先】釧路市埋蔵文化財調査センター：電話:0154-43-0739

ホームページ：<http://www.city.kushiro.lg.jp/museum/maibun/cat00000984.html>



○モシリヤチャシ跡



○ウランコウシチャシ跡

(2) 道指定文化財

● 道指定有形文化財(建造物)

「北海道家庭学校礼拝堂」(ほっかいどうかていがっこうれいはいどう)

【員 数】 1 棟

【所 在 地】 紋別郡遠軽町留岡 34 番地

【所 有 者】 社会福祉法人 北海道家庭学校

【解 説】「北海道家庭学校礼拝堂」は、少年たちを自立させるための心の拠り所として大正 8 (1919) 年に建築された建造物であり、道内に現存する教会堂と比較しても大正期の形態をとどめる希少な建物です。

意匠の特徴をあげると、外観は質素な木造教会堂の趣であり、外観・内観とも細部の意匠に工夫を凝らしており、外壁全体をドイツ下見としながら、縦板張り、ハーフ・ティンバーを組み合わせ、内部は礼拝堂の中心性を示すために天井を幾何学的な枠組みと板張りで装飾されています。

また、左右相称を基本として伝統の教会堂の形態を採用し、平面を十字形とする点については、教会堂の形が取り入れています。

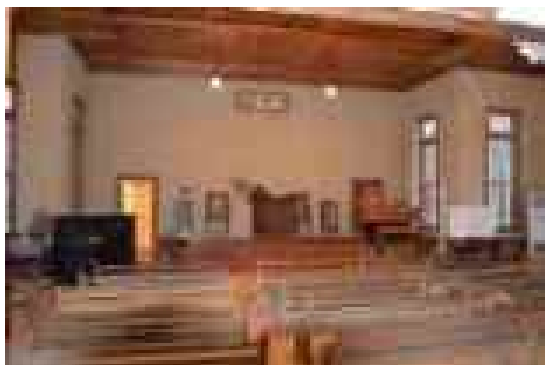
以上の観点から、北海道において貴重な学校施設であり、教会堂関連の建築として貴重な建物と評価されています。

【問い合わせ先】 遠軽町教育委員会教育部社会教育課：電話 0158-42-2191

ホームページ: http://engaru.jp/asobu-manabu/21kyoutsu/bunka/bunka_index.html



○北海道家庭学校礼拝堂



○建物内部

(3) 国登録有形文化財（建造物）

①「遠藤家住宅主屋」他 5 棟

- ・登録有形文化財「遠藤家住宅主屋」（えんどうけじゅうたくしゅおく）
- ・登録有形文化財「遠藤家住宅蔵」（えんどうけじゅうたくくら）
- ・登録有形文化財「遠藤家住宅南石蔵」（えんどうけじゅうたくみなみいしぐら）
- ・登録有形文化財「遠藤家住宅北石蔵」（えんどうけじゅうたくきたいしぐら）
- ・登録有形文化財「遠藤家住宅表門」（えんどうけじゅうたくおもてもん）
- ・登録有形文化財「遠藤家住宅塀」（えんどうけじゅうたくへい）

【年 代】大正 8 年

【所 在 地】札幌市

【解 説】材木商を営んだ遠藤家の住宅。札幌軟石と煉瓦れんがの塀で囲まれた敷地に、主屋、煉瓦蔵、石蔵などを建てています。主屋は正面に玄関を構え、洗練された造作の和風座敷や洋風意匠の応接室を庭園に面して配置しており、大正期のたたずまいを伝える上質な近代和風建築です。平成 26 年 12 月 7 日、登録有形文化財（建造物）として登録されました。

【問い合わせ先】札幌市観光文化局文化財課 電話:011-211-2312

ホームページ: <http://www.city.sapporo.jp/shimin/bunkazai/index.html>



○遠藤家住宅全景



○遠藤家住宅北石蔵

②登録有形文化財「飯田家住宅座敷棟」(いいだけじゅうたくざしきとう)

【年 代】明治 44 年頃、昭和 26 年移築

【所 在 地】沙流郡日高町富川南 1－401－50

【解 説】皇太子（後の大正天皇）行啓時の宿所として旧門別町本町に建てられた座敷二室と東面廊下の主体部を同町富川に移築し、増築された建物。軸部にヒノキの良材をふんだんに使い、折上格天井(おりあげごうてんじょう)、トコ、付(つけ)書院、建具、鍔(かざり)金具などの内部造作は善美を尽くした気品ある意匠のある建造物です。平成 26 年 7 月 18 日、登録有形文化財（建造物）として登録されました。

※ 旧門別町字本町から同町富川に移築されたときに、正側面の玄関及び居室等が増築された（増築部は登録対象外）。

【問い合わせ先】日高町立門別図書館郷土資料館 電話：01456-2-3746

ホームページ <http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ss/srk/hkd/thidaka/032.htm>



○ 飯田家住宅座敷棟

2 世界遺産登録を目指して

平成 21 年 1 月 5 日、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」を含む国内の 3 件の文化遺産がユネスコ世界遺産センターの管理する「世界遺産暫定一覧表」（世界遺産候補となる各国資産のリスト）に記載されました。

北海道と北東北 3 県は、平成 21 年 6 月に 4 道県と関係する 12 市町の首長と教育長で構成する「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」を設置し、登録推進のための事業を継続しています。北海道教育委員会においても、知事部局と連携し、登録推進のための情報発信事業を行っています。

平成 26 年度については、政府が「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」を推薦することとなり、「推進本部」として、当初目標としていた平成 26 年度のユネスコへの推薦は、見送られることとなりましたが、平成 26 年 2 月 28 日に、引き続き 4 道県 14 市町は、共同して「直近の機会での推薦」を目指すこととしております。

（１） 世界遺産登録に向けた体制と事業について

「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」が世界遺産登録に向けて行う主な事業は 2 つあります。

第一は「世界遺産登録推薦書案」の作成です。「暫定一覧表」に記載された物件が世界遺産登録にふさわしいかどうかの審査を受けるためには、日本政府がユネスコ世界遺産センターに「登録推薦書」を提出しなければなりません。この推薦書のもととなる「世界遺産登録推薦書原案」を平成 25 年 7 月 24 日に文化庁へ提出しましたが、8 月 23 日の文化審議会の特別委員会において、推薦を得ることはできませんでした。今後は、文化庁から示された諸課題について、国内外の専門家の助言を得ながら、推薦内容の精度を高め、文化庁との協議が整った段階で推薦書原案を改訂することとしております。

第二は登録推進のための普及啓発、国際的合意形成です。政府の推薦を受けるためには日本を代表する文化遺産の一つとして広く国内の支持を得る必要があります、また登録の実現にはそれを妥当とするだけの国際的な評価を得なければなりません。そこで広報資料の作成や説明会の開催などを通じて、国内外に縄文遺跡群の「顕著な普遍的価値」を発信していこうとするものです。

「本部」のもとには各自治体の文化財担当課長などで組織する「縄文遺跡群世界遺産登録推進会議」と考古学や文化財学などの専門家による「縄文遺跡群世界遺産登録推進専門家委員会」が設置され、それぞれの事業の円滑な実施と専門的な事項の調査・検討を行っています。平成 26 年度には臨時も含め推進会議を 2 回、専門家委員会を 1 回開催し、協議を進めました。

また、平成 26 年 10 月に函館市及び八戸市(青森県)、平成 27 年 2 月に東京で「縄文遺跡群世界遺産登録推進フォーラム」を開催しました。フォーラムでは、人類史における

縄文遺跡群の価値、北海道・北東北の縄文遺跡群の特徴などをテーマに講演・説明が行われ、多くの方に参加いただきました。

◆縄文遺跡群世界文化遺産登録推進フォーラム開催（函館市）開催の様子

ホームページ：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/26forum.htm>

○フォーラム・パネル展



○世界遺産登録推進フォーラム



（２）４道県共通ホームページの作成について

平成 25 年 8 月 30 日に、世界遺産登録をめざす「北海道・北東北の縄文遺跡群」の普及啓発を目的に、４道県共通ホームページを開設しました。

また、平成 26 年 3 月 31 日には、子どもたちに縄文遺跡群の魅力を紹介する北海道・北東北の縄文遺跡群キッズサイト「JOMON ぐるぐる」を開設しております。

◆「JOMON JAPAN 北海道・北東北の縄文遺跡群」

ホームページ：<http://jomon-japan.jp/>

◆北海道・北東北の縄文遺跡群キッズサイト「JOMON ぐるぐる」

ホームページ：<http://jomon-japan.jp/kids/>



(3) 北海道の独自事業について

平成 14 年の北海道・北東北知事サミットにおける北海道知事の提案に基づき、北海道は平成 16 年度から縄文文化を核にした地域間交流を行う「北の縄文文化回廊づくり」事業を青森・岩手・秋田の 3 県とともに進めてきました。

暫定一覧表への記載はこの取組みの基盤のうえに実現したものであり、平成 24 年度においては、世界遺産の登録を目指す取組を一元的に推進する組織として知事部局に「縄文世界遺産推進室」が設置され、北海道教育委員会と連携して、道内における気運の醸成を図るために道独自の事業を行っております。

7 月には「北の縄文パネル展 2014 夏・宗谷」を稚内市で、「北の縄文フォーラム 2014」を札幌市で開催しました。

これらの登録推進事業については縄文世界遺産推進室のウェブサイト内で報告し、今後の予定についても紹介しておりますのでご参照ください。行う

○北の縄文パネル展 2014 夏・宗谷



○北の縄文フォーラム 2014・札幌市



◆「北の縄文フォーラム 2014」ホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/northjomonforum2014.htm>

(4) 「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について

平成 19 年 9 月、北海道は北見市、標津町とともに「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」を世界遺産暫定一覧表に記載するよう文化庁に提案しましたが、現状では世界遺産としての「顕著な普遍的価値」の証明が難しいとして記載は見送られました。

この資産の評価については文化庁「文化財オンライン」内「暫定一覧表記載資産の追加について」などをご覧ください。

ホームページ：http://bunka.nii.ac.jp/jp/world/h_14.html

3 文化財保護強調月間について

「北海道文化財保護強調月間」は、平成 20 年度に毎年 10 月 8 日～11 月 7 日の期間を、北海道教育委員会をはじめ、札幌市、北海道都市教育委員会連絡協議会、北海道町村教育委員会連合会、北海道文化財保護協会、北海道博物館協会の 6 者により共同で設定したものです。

この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的として、月間期間中に、各市町村教育委員会や道内の博物館等の協力により、文化財公開・活用事業（指定文化財の一般公開や文化財に関連する事業）を実施するものです。

平成 26 年度は、第 7 回目として、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座、シンポジウムなど、文化財に関連するイベントが、90 市町で 231 の事業が実施されました。

また、北海道教育委員会では、7 月 13 日に「2014 北の縄文フォーラム」（北海道と共催）を開催し、多くの皆様にご来場頂きました。

なお、第 7 回北海道文化財保護強調月間ポスターには、「北海道開拓の村児童写生会」で北海道教育委員会教育賞を受賞した「旧広瀬写真館」の絵画を掲載しました。

今後も、市町村教育委員会等の協力を得ながら、様々なかたちで、児童・生徒の皆さんに、そして、広く道民の方々に文化財を身近に親しんでいただく機会づくりに、取り組めます。

・文化財保護強調月間ホームページ→

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkkan.htm>

「北海道文化財保護強調月間」の設定の趣旨

私たちの郷土・北海道には、豊かな自然や北国の風土の中で育まれてきた縄文時代の遺跡やアイヌの人たちの伝統的な文化をはじめ、全国各地からの移住や北海道開拓によりもたらされた多様な文化財が数多く残されています。

これらの文化財は、本道の歴史や文化を理解する上で欠くことのできないものであり、現代を生きる私たちに、先人の知恵と技を伝え、日々の暮らしに精神的な豊かさや潤いをもたらす道民の貴重な共有財産です。

しかし、一方で、長い歴史の中で受け継がれてきた文化財の中には、社会構造の変化や少子・高齢化の進行などに伴い、保存や伝承が困難となっているものもあるため、文化財に対する親しみや理解を深めながら、次世代に確実に守り伝えていくことが、いま、課題となっています。

私たち 6 団体は、市町村教育委員会や関係団体の皆様方と連携協力し、道民の方々が文化財に親しむ環境づくりを推進するとともに、貴重な文化財を地域全体で継承していくため、国の「文化財保護強調週間」や「北海道教育の日」との連動を図り、新たに、毎年 10 月 8 日から 11 月 7 日までを「北海道文化財保護強調月間」として設定することをここに宣言します。

平成 20 年 7 月 17 日

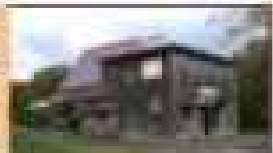
北海道文化財保護強調月間

第7回 平成26年10月8日(水)～11月7日(金)



北海道教育庁生涯学習振興課文化財・博物館課
北海道教育庁生涯学習振興課文化財・博物館課
〒060-0801 札幌市中央区南一条西五丁目1番1号
(札幌市中央区南一条西五丁目1番1号 5階)

北海道教育庁
文化財課、生活文化課、生涯学習課、博物館課
北海道教育庁生涯学習振興課文化財・博物館課
〒060-0801 札幌市中央区南一条西五丁目1番1号
(札幌市中央区南一条西五丁目1番1号 5階)



TEL: 011-244-1111
FAX: 011-244-1112



北海道教育庁生涯学習振興課文化財・博物館課は、毎年10月8日から11月7日まで「北海道文化財保護強調月間」を実施し、北海道教育庁生涯学習振興課文化財・博物館課の所管する文化財の保護と活用について、広く関係機関や市民、関係団体等に呼びかけ、関係機関や市民の協力を得ることを目指しています。

開催期間

10月8日(水)～11月7日(金) / 北海道教育庁生涯学習振興課文化財・博物館課
北海道教育庁生涯学習振興課文化財・博物館課 / 北海道教育庁生涯学習振興課文化財・博物館課

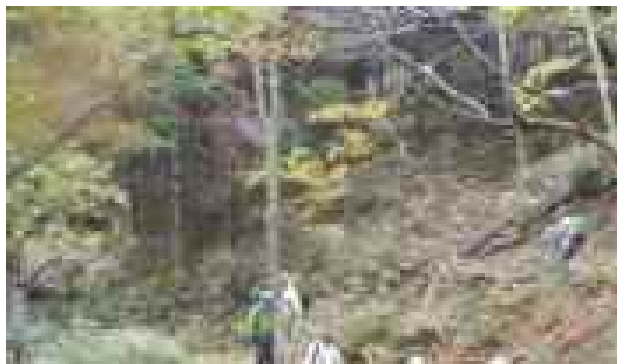
北海道教育庁生涯学習振興課文化財・博物館課

TEL: 011-244-1111

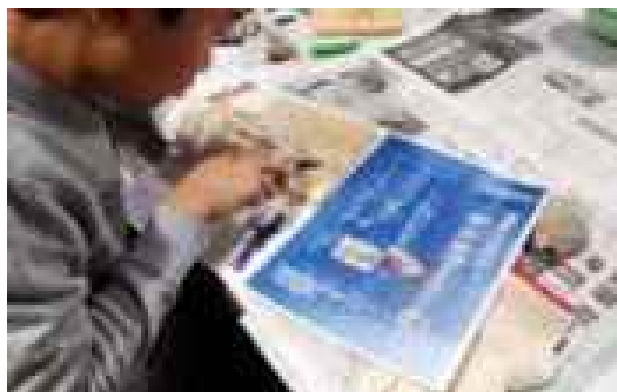
FAX: 011-244-1112



○えりも町猿留山道「猿留山道を歩く会」(H26. 10. 12)



○網走市最寄貝塚「骨角器づくり」(H26. 10. 18)



4 アイヌ民俗文化財の保存・伝承

北海道の貴重な文化的所産であるアイヌ文化は、伝承者の高齢化などにより世代間の伝承が難しい現状にあり、記録等を行うことが困難となる可能性があります。このため、北海道教育委員会は、アイヌの人たちの諸文化を調査・記録するとともに、地域の伝承活動を支援し、貴重なアイヌ文化を次世代に継承するため、様々な事業を行っています。

(1) アイヌ民俗文化財調査

アイヌ民俗文化財に関わる調査事業等を行い、報告書を刊行しました。報告書はアイヌ文化に係る道内外の研究機関及び大学図書館、主要な公立図書館等に配布し、活用を図りました。

[金成(かんなり)マツノート整理・翻訳、刊行事業]

ユーカラ等の口承文芸をローマ字で記録した伝承者・^{かんなり}金成マツのノートを整理・翻訳し、その成果を次の3冊の報告書として刊行しました。

- ・ユーカラシリーズ 49『アイヌ英雄叙事詩「オタサムの女:オタサム マツ.月の女神」』高橋靖以、切替英雄訳
- ・ユーカラシリーズ 50『アイヌ英雄叙事詩「潮とともに寄り上がり潮とともに噎せ返る」』萱野志朗訳
- ・ユーカラシリーズ 51『アイヌ英雄叙事詩「リクンナイの女」』蓮池悦子訳

(2) アイヌ民俗文化財保存・伝承活用事業

アイヌ文化への理解を促進し、アイヌ民俗文化財を保存・伝承するため、伝統的な民俗技術及び民俗芸能を学ぶことを目的とした次の事業を実施しました。

- ① アイヌ民俗技術伝承講座：道内
5会場(延べ51講座、延べ参加人員477人)
- ② アイヌ民俗芸能伝承講座：道内
5会場(延べ37講座、延べ参加人員400人)
- ③ アイヌ文化財専門職員等研修会
(会場：札幌、参加人員：47人)



アイヌ古式舞踊練習風景

5 指定文化財の保存整備(国庫補助事業)

指定文化財の保護又は保存整備をはかるため、北海道教育委員会・市町村教育委員会などが主体となって国庫補助を活用し、重要文化財の建物や、歴史資料の保存・修理、史跡・名勝の保存・整備の事業を行いました。

(1) 重要文化財

● 建造物

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
重要文化財 (建造物)	豊平館(ほうへ いかん)	豊平館は、明治 13 年に建てられた開拓使の手による本格的洋風建築の遺構であり、北海道における明治時代洋風建築の代表作です。 経年劣化等による損傷が大きく、平成 24 年度から平成 27 年度まで保存修理工事を実施する予定であり、3 年目の今年度は木工事、屋根・板金工事、建具工事を実施しました。	札幌市
重要文化財 (建造物)	旧旭川偕行社 (きゅうあさひかわ かいこうしゃ)	旧旭川偕行社は、明治 35 年に旭川に陸軍第七師団が設営された際に、将校たちの社交場として建設され、現在は旭川市彫刻美術館として保存、再利用されている建造物です。 平成 24 年度から平成 27 年度までの予定で保存修理工事を実施する予定で、3 年目の今年度は解体工事、構造補強工事を実施しました。	旭川市
重要文化財 (建造物)	旧日本郵船株式会社小樽支店(きゅうにほん ゆうせんかぶしき がいしゃおたるし てん)	旧日本郵船株式会社小樽支店は、明治 39 年に建てられた当時の商都小樽を代表する商業建築で、近世ヨーロッパ復興様式の石造建築物です。 昭和 30 年に小樽市が譲り受け、翌 31 年から小樽市博物館として再利用されました。 平成 25 年から建物の現況調査、耐震構造診断を開始し、今年度は、その結果をまとめた調査工事報告書を作成しました。	小樽市
重要文化財 (建造物)	旧函館区公会堂(きゅうはこだて くこうかいどう)	旧函館区公会堂は明治 39 年に集会所等として工事費の大半を豪商相馬哲平の寄付により建てられました。2 階のバルコニーからの絶景と和と洋が融合した優れた意匠で観光客に人気が高い建造物です。今年度、建物の構造調査、耐震診断書の作成などの耐震診断業務を実施しました。	函館市

○重要文化財「豊平館」(札幌市)



豊平館裏面



2階広間

○重要文化財「旧旭川偕行社」(旭川市)



(建物外観)

○重要文化財「函館区公会堂」(函館市)



(2階大広間)

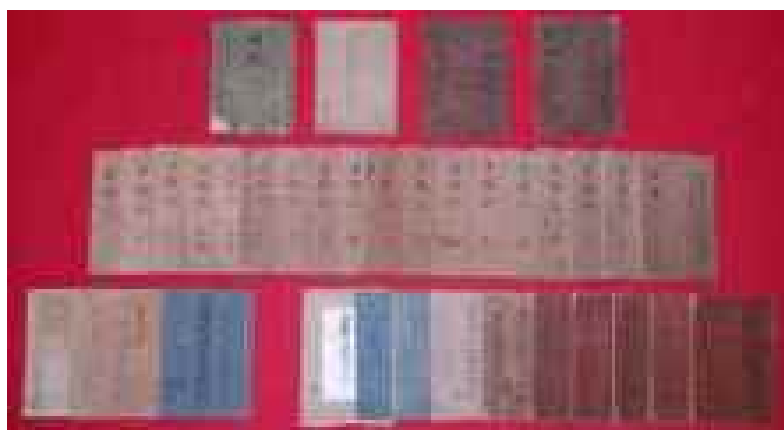
○重要文化財「旧日本郵船株式会社小樽支店」(小樽市)



● 美術工芸品

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
重要文化財 (歴史資料)	蝦夷三官寺国 泰寺(えぞさんか んじこくたいじ)関 係資料	国泰寺は、東蝦夷地の警備、和人の定着化等を目的として文化元年(1804年)に建立された寺院で、境内には、『日鑑記』を含む文書・記録類、経典類、器物類等、総点数832点からなる貴重な資料(国泰寺関係資料)が保管されてきました。 平成23年度から26年度の4年間の計画で、破損物品43点に係る保存修理事業を行っています。	国泰寺 (厚岸町)
重要文化財 (考古資料)	北海道上之国 勝山館跡出土 品	北海道上之国勝山館跡出土品は、15～16世紀(室町時代～安土・桃山時代)の城館跡から出土した、木製品、漆器、金属製品、骨角製品、繊維製品などからなる貴重な考古資料です。 平成26年度から30年度の5年間の計画で、破損物の保存修理事業及び公開・保存を目的とした、保存台及び保存箱の製作を行っています。	上ノ国 町
重要文化財 (考古資料)	北海道船泊遺 跡出土品	縄文時代後期中葉の集落跡と集団墓地、及び作業場跡等から出土した副葬品で、とりわけ貝製品には、房総半島以南のタカラ貝など、遠隔地から搬入された貝類を素材とした装身具が含まれ、当時の広域な物資交易をよく示す、貴重な資料となっています。 平成26年度から30年度の5年間の計画で、破損物の保存修理事業を行っています。	礼文町

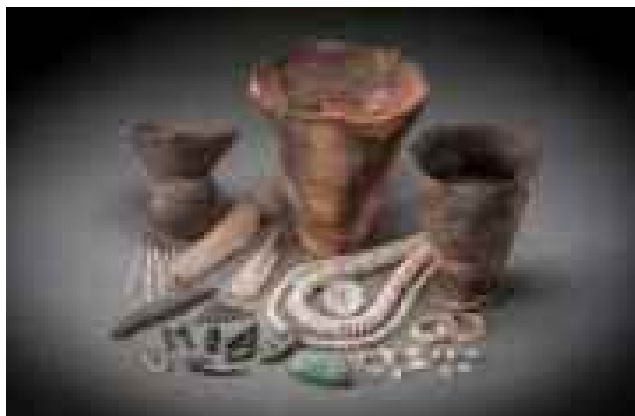
○重要文化財「蝦夷三官寺国泰寺関係資料」(厚岸町)



○重要文化財「北海道上之國勝山館跡出土品」（上ノ国町）



○重要文化財「北海道船泊遺跡出土品」（礼文町）



撮影：佐藤雅彦

貝平玉

（２）選定

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
重要伝統的 建造物群保 存地区	函館市元町末広 町(もとまちすえひろ ちょう)重要伝統的 建造物群保存地 区	函館市元町末広地区は旧外国公館や寺院・教会、レンガ造の倉庫群、上下和洋折衷の町家などが建ちならび、異国情緒の濃い町並みを形成しています。 この歴史的な町並みを大切にするため、選定となった平成元年度から建築物所有者の理解と協力を得ながら、伝統的建造物の修理、一般建築物の修景、環境物件の復旧などを継続的に行っています。平成 26 年度は、カトリック元町教会聖堂主屋修理事業など 5 件の修理事業を実施しました。	函館市

重要文化的 景観	アイヌの伝統と 近代開拓による 沙流川流域の文 化的景観	「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的 景観」は、アイヌ文化の諸要素を現在に至るまでとどめ ながら、開拓期以降の農林業に伴う土地利用がその上に 展開することによって、多文化の重層としての様相を示 す極めて貴重な文化的景観です。 平成 26 年度は、2 次選定に向け意識の高揚を目的とした 普及啓発事業を行いました。	平取町
-------------	---------------------------------------	--	-----

○函館市元町末広町重要伝統的建造物群保存地区（函館市）



カトリック元町聖教会主屋



旧相馬邸主屋

○ 沙流川流域の文化的景観



（３）史跡・名勝

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
特別史跡	五稜郭跡（ご りょうかく あと）	五稜郭は箱館奉行所の防御施設として元治元年 (1864)に完成し、日本の建築・土木技術の伝統 と西欧の城塞設計の思想が合流した特色ある城 郭です。 平成 26 年度は、崩落した石垣の現況調査及び構 造確認を目的とした試掘調査を実施しました。	函館市

史 跡	松前氏城跡 福山城跡 館城跡のうち福山城跡	福山城は松前城とも呼ばれ、安政元年(1854)に完成した城です。海からの攻撃に備えた台場(砲台)が城内外にあり、また城跡の背後には藩政時代から続く寺町が今も残ります。 平成26年度は遺構確認調査と、堀廻り地区の環境整備を実施しました。	松前町
史 跡	東蝦夷地南部藩陣屋跡 (ひがしえぞちなんぶはんじんやあと)モロラン陣屋跡	南部藩は安政3(1856)年にペケレオタにモロラン陣屋を設け、オイナオシに見張所、ポロシレトルに台場と勤番所を配置しました。 最盛期には約350人の藩士が派遣され、明治元年まで北辺警備を行っています。 平成26年度は、標識・照明灯の改修や転宅防止柵の設置を行いました。	室蘭市
史 跡	シベチャリ川流域チャシ群及びアップツチャシ跡	シャクシャインの砦として有名なシベチャリチャシ跡など、新ひだか町管内の5つのチャシ跡と、オニビシのチャシ跡とされる日高町管内のアップツチャシ跡が群指定されています。 平成26年度は、新ひだか町管内のチャシ跡についての保存管理計画策定が行われ、計画書が刊行されました。	新ひだか町
天然記念物	阿寒湖のマリモ	世界でここにしか残されていない大規模なマリモの群集ですが、藻が多くなって生息環境の悪化が心配されています。 平成26年度は、生育環境調査を行い、今後の保存に向けた科学委員会も開かれました。	釧路市
天然記念物	標津湿原	独特の環境から多数の動植物が棲息する湿原ですが、過去に掘られた排水路や周辺環境の変化から乾燥化が心配されています。 平成26年度は湿原内の総合調査が実施され、今後の保存に向けた委員会も開かれました。	標津町

6 埋蔵文化財保護のための事前協議

土木工事などによって土地を掘り返すと、土地に埋まっている文化財（埋蔵文化財）を破壊してしまうことがあります。

このような破壊を避けるため、開発・建設などの事業者と北海道教育委員会及び市町村教育委員会が前もって協議を行ない、工事が埋蔵文化財に影響を与えるかどうかを判断したうえで、できる限りその取り扱いに関する調整を行なっています。これを「埋蔵文化財保護のための事前協議」と呼びます。

工事の前に、まず予定地を歩いて文化財の有無などを確かめることを「所在調査」と呼びます。計画中の工事などが埋蔵文化財に影響を与えるかどうか判断する目的で、実際に一部を掘って、文化財の有無・深さ・内容などを調べることを「試掘調査」と言います。

北海道教育委員会ではこのような工事から埋蔵文化財を保護するため、7,096.214haについて所在調査を、209.117haについて試掘調査を実施し、開発計画の変更や事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財保護のための事前協議の流れ（概要）

① 工事計画



② 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の分布状況を調べます



※北海道ではインターネットで遺跡分布図を公開しています

【北の遺跡案内】 <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm>

- ・周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内や隣接地での工事の場合
- ・土砂採取、ゴルフ場建設などの1haを超える大規模な開発行為の場合

③ 埋蔵文化財保護のための事前協議書提出（工事等の計画者→市町村→道教委へ）



④ 所在調査（市町村・北海道教育委員会実施）



遺跡がありそうな地形かどうか判断します。 土器・石器などが落ちていないか
(川や海のそばの高台は特に要注意！) 実際に現地を歩いてみて調査します。



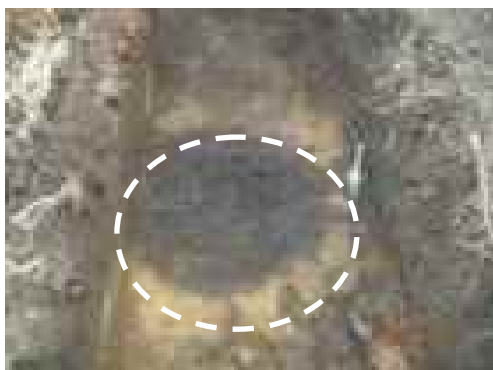
→ 遺跡が所在しない場合は着工



⑤ 試掘調査(市町村・北海道教育委員会実施)



重機・スコップなどで地面を掘ってみます。掘った土の中に土器・石器等があるか調べます。



昔の家(竪穴住居)やお墓の跡があるか調べます。(出土した土器 約 2000 年前のもの)
(中央の黒い土のシミが縄文時代の穴の跡)



→ 遺跡が所在しない場合は着工可

⑥ 試掘調査の結果と工事の内容から、どのような保護が必要か判断します。

(北海道教育委員会など)

- (1) 現状保存 工事計画を変更して遺跡を保存する。
- (2) 発掘調査 工事の前に発掘調査を行う。
- (3) 工事立会 工事の際に市町村・北海道教育委員会の職員が立ち会う。
- (4) 慎重工事 遺跡に影響の少ない工事を行う。



⑦ 工事等の計画者に文書でお知らせします。

7 埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)

開発が予想される地域の埋蔵文化財の所在・範囲などを明らかにし、埋蔵文化財を保護するため、市町村教育委員会が主体となって国庫補助を活用し、発掘調査・分布調査や普及公開事業などを行いました。

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される6件の所在調査と25件の試掘調査を行い、事業者との調整を図りました。またH508遺跡の範囲・内容確認調査も実施しました。	札幌市
埋蔵文化財	市内遺跡	史跡キウス周堤墓群の遺跡の広がり把握するため、試掘周辺地区の保存目的の試掘調査を実施しました。調査の結果、近接地区は、縄文時代早期～擦文時代前期の遺跡であることがわかりました。	千歳市
埋蔵文化財	市内遺跡	市内で計画されている各種の開発行為に先立ち、埋蔵文化財の有無、範囲、内容等を把握するため、10件の試掘調査を実施しました。調査の結果、縄文土器、石器等が発見されました。	恵庭市
埋蔵文化財	市内遺跡	苫東柏原地区の北側の標高16mほどの丘陵部において、33箇所の試掘調査を行いました。調査の結果、調査地の東側、遠浅川よりの丘陵部で、4箇所の遺跡が新たに発見されました。	苫小牧市
埋蔵文化財	町内遺跡	別海町東部根室海峡側、ライトコタン川左岸の独立丘に立地する床丹1チャシ跡について、大雨により崩壊が進行するおそれがあることから、測量、発掘による記録保存、チャシ跡の基礎的な情報を得るための詳細分布調査を行いました。	別海町
埋蔵文化財	市内遺跡	史跡垣ノ島遺跡の主要遺構である盛土遺構について範囲や構造等の詳細確認を行うとともに、平成25年に確認した配石遺構の内容確認のための調査を実施しました。調査の結果、盛土最上層の堆積土や遺物包含(ほうがん)状況などを確認し、配石遺構の周辺からは、新たに多数の配石遺構を検出しました。	函館市
埋蔵文化財	市内遺跡	市内で計画されている各種の開発行為に先立ち、5件の試掘調査を実施し、埋蔵文化財の有無、範囲、内容等を確認しました。	稚内市
埋蔵文化財	町内遺跡	町内で計画されている各種の開発行為に先立ち、4件の試掘調査を実施し、埋蔵文化財の有無、範囲、内容等を確認しました。	美幌町

埋蔵文化財	町内遺跡	勝山館跡出土遺物の公開活用を目的として、金属製品・木製品・骨角器 2,539 点に合成樹脂をしみ込ませるなどの保存処理を行いました。	上ノ国町
埋蔵文化財	町内遺跡	チャシコツ岬上遺跡の範囲内容確認調査を実施しました。チャシコツ岬上遺跡はオホーツク文化期の集落跡で、土抗墓 3 基、土器、石器等出土遺物 1,265 点が検出されました。	斜里町
埋蔵文化財	町内遺跡	史跡鷲ノ木遺跡の環状列石の確認状況と保存措置等に係る作業を実施し、保護シート・土のう等による作業を行い、劣化防止措置をとりました。	森 町
埋蔵文化財	町内遺跡	埋蔵文化財包蔵地ニサナイチャシ跡及びノットカチャシ跡の発掘調査を行いました。調査により、ニサナイチャシ跡等 5 基の遺構と、石器 73 点、礫(れき)101 点、鉄製品 1 点の計 175 点の遺物を検出しました。	むかわ町
埋蔵文化財	町内遺跡	安平志内(あべしな)川右岸遺跡の保存を目的として、測量及び試掘調査を行いました。調査の結果、黒曜石製石器、土器片、土器片などの、アイヌ文化期のものと推定される多くの遺物が検出されました。	中川町
埋蔵文化財	史跡等及び埋蔵文化財公開活用	千歳市埋蔵文化財センターで縄文人の生活の体験学習会や土器・石器・勾玉作り、史跡キウス周堤墓群等をテーマとした企画展・講演会を実施し、市民向けのパンフレットを作成しました。また、史跡キウス周堤墓内に案内板を設置しました。	千歳市
埋蔵文化財	史跡等及び埋蔵文化財公開活用	史跡北黄金貝塚や縄文文化を紹介する講座・展示会・シンポジウムやイベント等を開催し、史跡を紹介するパンフレットを作成しました。また、縄文キャンプ等の体験学習を実施しました。	伊達市
埋蔵文化財	史跡等及び埋蔵文化財公開活用	松法川北岸遺跡出土品の積極的な公開・活用を図り、町内の埋蔵文化財への関心・理解を深めるため、出土遺物のパネル、レプリカ作成を行うなどの体験学習事業、広報資料の作成、台帳作成等の活動を行いました。	羅臼町
埋蔵文化財	史跡等及び埋蔵文化財公開活用	遠軽町埋蔵文化財センターで石器づくり・アクセサリーづくり等の体験学習会や講演会、展示会を開催し、黒曜石の露頭がある赤石山の見学会を実施しました。	遠軽町
埋蔵文化財	史跡等及び埋蔵文化財公開活用	市内の貴重な歴史遺産である史跡東蝦夷地南部藩陣屋跡、市内に所在する数多くの埋蔵文化財について、市民によりよく理解してもらうため、講演会、特別展示会、体験学習及び周知資料の整備を行いました。	室蘭市



○千歳市 キウス周堤墓群遺跡調査風景

○ むかわ町 ニサナイチャシ跡全景



○ 斜里町 チャシコツ岬上遺跡



竪穴住居跡覆土上層の配石遺構検出状況



土坑墓（中央が被瓶土器）検出状況

8 発掘調査

平成 26 年度は北海道内で 84 件、133,559 m²の発掘調査が実施されました。内訳は次のとおりです。

調査主体	件数	調査面積
市町村教育委員会	52	53,785 m ²
公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	19	76,337 m ²
大学・博物館等	13	3,437 m ²

また、平成 26 年度に北海道内の市町村教育委員会が実施した発掘調査の状況や出土遺物などについては、北海道教育委員会のホームページで公開していますので、ご覧ください。URLは次のとおりです。

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h26gaiyou.htm>



○ 厚真町 上幌内 2 遺跡
2 号墓の出土した副葬品
(刀剣類など)



○ 函館市
白尻 A 遺跡発掘作業

Ⅱ 資 料 編

1 文化財

(1) 文化財の指定状況(国指定・道指定)

区 分	種 別	地 域 を 定 め ず	空 知	石 狩	後 志	胆 振	日 高	渡 島	檜 山	上 川	留 萌	宗 谷	オ ホ ー ツ ク	十 勝	釧 路	根 室	国 保 有	計
国 指 定	国宝							1										1
	重要文化財			15	3	3	1	13	5	1	2	2	1	1	2		5	54
	重要無形文化財																	0
	重要有形民俗文化財			1			1	1			1							4
	重要無形民俗文化財			1														1
	特別史跡							1										1
	史跡		1	8	6	6	1	10	2		1		4	2	5	4		50
	名勝(*1)			*1		*2	*3	1		1		*1	1 *1	*1				3
	特別天然記念物	1		1		1	1			1					1			6
	天然記念物	14	2	2	2	1	2	2	2	2	2		1	1	5	3		41
	小計	15	3	28	11	11	6	29	9	5	6	2	7	4	13	7	5	161
選 定	重要伝統的建造物群保存地区							1										1
	重要文化的景観						1											1
	小計	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
登 録	有形文化財(建造物)		25	27	14	6	2	19	1	13		3	13	7	1	8		139
	記念物							1										1
	小計	0	25	27	14	6	2	20	1	13	0	3	13	7	1	8	0	140
道 指 定	有形文化財		3	7	5	5	2	32	7		2	3	4	4	2	3		79
	有形民俗文化財			2				1	3									6
	無形民俗文化財							2	5									7
	史跡		1		3	2	2	4	1	1		2	5	4	1			26
	名勝									1			1					2
	天然記念物		5			1	1	2	1	1		5	5	7	1	4		33
	小計	0	9	9	8	8	5	41	17	3	2	10	15	15	4	7	0	153
合 計		15	37	64	33	25	14	91	27	21	8	15	35	26	18	22	5	456

※国指定名勝(びりか)の指定件数は1件でカウントされるため、*印の件数は計、小計に加算されない。)

(2) 国指定文化財一覧

国指定文化財とは、文化財保護法に基づき、文化審議会の答申を受けて、文部科学大臣が指定して保存を図る文化財です。

〔国宝〕

(平成27年3月31日現在)

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	土偶（北海道函館市著保内野遺跡出土）	考古資料	函館市	H19. 6. 8

〔重要文化財〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	太刀 銘国俊	工 芸	札幌市	S8. 1. 23
2	八窓庵（旧舎那院忘筌）	建 造 物	札幌市	S11. 9. 18
3	福山城（松前城）本丸御門	建 造 物	松前町	S16. 5. 8
4	紙本墨書後鳥羽天皇宸翰熊野懷紙（山路眺望暮里神楽）	書跡・典籍	帯広市	S25. 8. 29
5	刀 無銘伝来国行	工 芸	札幌市	S31. 6. 28
6	土偶（北海道室蘭市輪西町出土）	考古資料	室蘭市	S37. 6. 21
7	豊平館	建 造 物	札幌市	S39. 5. 26
8	木造大日如来坐像（本堂安置）	彫 刻	函館市	S42. 6. 15
9	北海道庁旧本庁舎	建 造 物	札幌市	S44. 3. 12
10	旧日本郵船株式会社小樽支店	建 造 物	小樽市	S44. 3. 12
11	北海道大学農学部（旧東北帝国大学農科大学）第二農場	建 造 物	札幌市	S44. 8. 19
12	旧札幌農学校演武場（時計台）	建 造 物	札幌市	S45. 6. 17
13	旧三戸部家住宅	建 造 物	伊達市	S46. 12. 28
14	旧花田家番屋	建 造 物	小平町	S46. 12. 28
15	旧下ヨイチ運上家	建 造 物	余市町	S46. 12. 28
16	旧中村家住宅	建 造 物	江差町	S46. 12. 28
17	太刀川家住宅店舗	建 造 物	函館市	S46. 12. 28
18	人形装飾異形注口土器（北海道上磯郡上磯町茂辺地出土）	考古資料	北斗市	S48. 6. 6
19	旧函館区公会堂	建 造 物	函館市	S49. 5. 21
20	動物形土製品（北海道千歳市美々第四遺跡出土）	考古資料	千歳市	S54. 6. 6
21	函館ハリストス正教会復活聖堂	建 造 物	函館市	S58. 6. 2
22	土面（北海道千歳市真々地町ママチ遺跡第三一〇号土墳墓出土）	考古資料	千歳市	S63. 6. 6
23	旧旭川偕行社	建 造 物	旭川市	H1. 5. 19
24	北海道大学農学部植物園・博物館	建 造 物	札幌市	H1. 5. 19
25	北海道美利河1遺跡出土品	考古資料	今金町	H3. 6. 21
26	北海道湯の里4遺跡土壙出土品	考古資料	知内町	H3. 6. 21
27	龍雲院	建 造 物	松前町	H4. 1. 21

28	旧笹浪家住宅	建 造 物	上ノ国町	H4. 1. 21
29	正行寺本堂	建 造 物	厚岸町	H4. 1. 21
30	法源寺山門	建 造 物	松前町	H5. 4. 20
31	上國寺本堂	建 造 物	上ノ国町	H5. 4. 20
32	北海道江別太遺跡出土品	考古資料	江別市	H5. 6. 10
33	北海道元江別 1 遺跡土壙墓出土品	考古資料	江別市	H7. 6. 15
34	北海道コタン温泉遺跡出土品	考古資料	八雲町	H9. 6. 30
35	北海道目梨泊遺跡出土品	考古資料	枝幸町	H12. 6. 27
36	遺愛学院（旧遺愛女学校） 旧宣教師館 本館	建 造 物	函館市	H13. 6. 15 H16. 12. 10
37	旧手宮鉄道施設	建 造 物	小樽市	H13. 11. 14
38	北海道志海苔中世遺構出土銭	歴史資料	函館市	H15. 5. 29
39	旧本間家住宅	建 造 物	増毛町	H15. 12. 25
40	北海道有珠モシリ遺跡出土品	考古資料	伊達市	H16. 6. 8
41	北海道有珠モシリ遺跡出土品	考古資料	伊達市	H16. 6. 8
42	箱館奉行所文書	歴史資料	札幌市（北海道立文書館）	H16. 6. 8
43	北海道美々 8 遺跡出土品	考古資料	江別市（北海道立埋蔵文化財センター）	H17. 6. 9
44	蝦夷三官寺善光寺関係資料	歴史資料	伊達市	H17. 6. 9
45	蝦夷三官寺等澍院関係資料	歴史資料	様似町	H17. 6. 9
46	蝦夷三官寺国泰寺関係資料	歴史資料	厚岸町	H17. 6. 9
47	北海道カリンバ遺跡墓坑出土品	考古資料	恵庭市	H18. 6. 9
48	銀板写真（松前勘解由と従者像）附添状	歴史資料	松前町	H18. 6. 9
49	大谷派本願寺函館別院	建 造 物	函館市	H19. 12. 4
50	北海道上之国勝山館跡出土品	考古資料	上ノ国町	H20. 7. 10
51	北海道白滝遺跡群出土品	考古資料	遠軽町	H23. 6. 27
52	北海道船泊遺跡出土品	考古資料	礼文町	H25. 6. 19
53	旧開拓使工業局庁舎	建 造 物	札幌市	H25. 8. 7
54	開拓使文書	歴史資料	札幌市	H26. 8. 21

※ 国保有重要文化財（No.6・18 東京国立博物館保管、No.22 北海道立埋蔵文化財センター、
No.33 江別市郷土資料館、No.40 伊達市教育委員会）

〔重要有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌのまるきぶね	札幌市	S32. 6. 3
2	アイヌの生活用具コレクション	函館市	S34. 5. 6
3	留萌のニンシ漁撈(旧佐賀家漁場)用具	留萌市	H7. 12. 26
4	北海道二風谷および周辺地域のアイヌ生活用具コレクション	平取町	H14. 2. 12

〔重要無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌ古式舞踊	白老町・平取町・新ひだか町・旭川市 浦河町・帯広市・釧路市・札幌市・千歳市 むかわ町・日高町・新冠町・様似町 弟子屈町・白糠町	S59. 1. 21

〔特別史跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	五稜郭跡	函館市	S27. 3. 29

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	手宮洞窟	小樽市	T10. 3. 3
2	四稜郭	函館市	S9. 1. 22
3	東蝦夷地南部藩陣屋跡 モロラン陣屋跡 ヲシヤマンベ陣屋跡 砂原陣屋跡	室蘭市 長万部町 森町	S9. 5. 1 S49. 8. 22 S49. 8. 22
4	志苔館跡	函館市	S9. 8. 9
5	松前氏城跡 福山城跡 館城跡 松前氏城跡 福山城跡(追加指定) 館城跡(追加指定) 松前氏城跡 福山城跡(追加指定)	松前町 厚沢部町 松前町 厚沢部町 松前町	S10. 6. 7 H14. 9. 20 H25. 10. 17 H25. 10. 17 H27. 3. 10
—	モシリヤ砦跡 (H. 27. 3. 17 釧路川流域チャシ跡群に統合)	釧路市	
—	鶴ヶ岱チャランケ砦跡(H. 27. 3. 17 釧路川流域チャシ跡群に統合)	釧路市	
6	春採台地竪穴群	釧路市	S10. 12. 24
7	桂ヶ岡砦跡	網走市	S10. 12. 24

8	最寄貝塚	網走市	S11. 12. 16
9	フゴッベ洞窟	余市町	S28. 11. 14
10	音江環状列石	深川市	S31. 12. 28
11	忍路環状列石	小樽市	S36. 3. 10
12	松前藩戸切地陣屋跡	北斗市	S40. 3. 18
13	白老仙台藩陣屋跡	白老町	S41. 3. 3
14	開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	札幌市	S42. 12. 15
15	東釧路貝塚	釧路市	S45. 7. 22
16	旧下ヨイチ運上家	余市町	S48. 7. 31
17	国泰寺跡	厚岸町	S48. 10. 29
18	常呂遺跡	北見市	S49. 3. 12
19	善光寺跡	伊達市	S49. 5. 23
20	標津遺跡群 伊茶仁カリカリウス遺跡 古道遺跡 三本木遺跡	標津町	S51. 6. 21 S54. 5. 22 H1. 10. 20
21	西月ヶ岡遺跡	根室市	S51. 8. 28
22	大館跡	松前町	S52. 4. 5
23	上之国館跡 花沢館跡 洲崎館跡 勝山館跡	上ノ国町	S52. 4. 12 S52. 4. 12 H18. 3. 31
24	北斗遺跡	釧路市	S52. 7. 14
25	ウサクマイ遺跡群	千歳市	S54. 5. 23
26	キウス周堤墓群	千歳市	S54. 10. 23
27	オタフンベチャシ跡	浦幌町	S56. 8. 29
28	松前藩主松前家墓所	松前町	S56. 11. 21
29	旧余市福原漁場	余市町	S57. 2. 12
30	琴似屯田兵村兵屋跡	札幌市	S57. 5. 7
31	茂別館跡	北斗市	S57. 7. 3
32	根室半島チャシ跡群	根室市	S58. 4. 26
33	旧島松駅通所	北広島市	S59. 7. 25
34	静川遺跡	苫小牧市	S62. 1. 8
35	ユクエピラチャシ跡	陸別町	S62. 9. 8
36	北黄金貝塚 北黄金貝塚(追加指定)	伊達市 伊達市	S62. 12. 25 H25. 10. 17
37	入江・高砂貝塚 入江・高砂貝塚(追加指定)	洞爺湖町 洞爺湖町	S63. 5. 13 H23. 9. 21

38	荘内藩ハママシケ陣屋跡	石狩市	S63. 5. 17
39	白滝遺跡群	遠軽町	H1. 1. 9
40	ピリカ遺跡	今金町	H6. 4. 26
41	旧留萌佐賀家漁場	留萌市	H9. 3. 11
42	シベチャリ川流域チャシ跡群およびアッペツチャシ跡	新ひだか, 日高町	H9. 12. 2
43	江別古墳群	江別市	H10. 9. 11
44	大谷地貝塚	余市町	H12. 11. 20
45	大船遺跡	函館市	H13. 8. 13
46	カリンバ遺跡	恵庭市	H17. 3. 2
47	鷺ノ木遺跡	森町	H18. 1. 26
	鷺ノ木遺跡(追加指定)	森町	H24. 9. 19
48	垣ノ島遺跡	函館市	H23. 2. 7
49	旧奥行臼駅通所	別海町	H23. 9. 21
50	釧路川流域チャシ跡群 (※モシリヤ砦跡、鶴ヶ岱チャランケ砦跡を統合するとともに周辺9チャシを追加)	釧路市, 釧路町, 弟子屈町 標茶町	H27. 3. 17

〔名 勝〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	天都山	網走市	S13. 12. 14
2	旧岩船氏庭園（香雪園）	函館市	H13. 8. 13
3	ピッカノカ 九度山（クトゥンヌプリ）	名寄市	H21. 7. 23
	黄金山（ピンネタイオルシペ）	石狩市	H21. 7. 23
	神威岬（カムイエトゥ）	枝幸町・浜頓別町	H22. 2. 22
	襟裳岬（オンネエンルム）	えりも町	H22. 8. 5
	瞰望岩（インカルシ）	遠軽町	H23. 2. 7
	カムイチャシ	豊浦町	H23. 2. 7
	絵鞆半島外海岸	室蘭市	H24. 1. 24
	十勝幌尻岳（ポロシリ）	帯広市・中札内村	H24. 9. 19
	幌尻岳（ポロシリ）	新冠町・平取町	H25. 10. 17
	オキクルミのチャシ及びムイノカ	平取町	H26. 3. 18

〔特別天然記念物〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	阿寒湖のマリモ	植 物	釧路市	S27. 3. 29
2	野幌原始林	植 物	北広島市	S27. 3. 29

3	アポイ岳高山植物群落	植 物	様似町	S27. 3. 29
4	昭和新山	地質鉱物	壮瞥町	S32. 6. 19
5	大雪山	天然保護 区域	上川町・東川町・ 美瑛町・新得町	S52. 3. 15
6	タンチョウ	動 物	主な生息地北海道	S27. 3. 29

〔天然記念物〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	後方羊蹄山の高山植物帯	植 物	倶知安町・京極町・ 喜茂別町・真狩村・ ニセコ町	T10. 3. 3
2	円山原始林	植 物	札幌市	T10. 3. 3
3	藻岩原始林（植物）	植 物	札幌市	T10. 3. 3
4	ヒノキアスナロおよびアオトドマツ自生地	植 物	江差町	T11. 10. 12
5	霧多布泥炭形成植物群落	植 物	浜中町	T11. 10. 12
6	登別原始林	植 物	登別市	T13. 12. 9
7	鶉川ゴヨウマツ自生北限地帯	植 物	厚沢部町	S3. 2. 7
8	オオミズナギドリ繁殖地	動 物	松前町	S3. 3. 24
9	歌オブナ自生北限地帯	植 物	黒松内町	S3. 10. 22
10	春採湖ヒブナ生息地	動 物	釧路市	S12. 12. 21
11	北海道犬	動 物	—	S12. 12. 21
12	天売島海鳥繁殖地	動 物	羽幌町	S13. 8. 8
13	名寄鈴石	地質鉱物	名寄市	S14. 9. 7
14	名寄高師小僧	地質鉱物	名寄市	S14. 9. 7
15	根室車石	地質鉱物	根室市	S14. 9. 7
16	落石岬のサカイツツジ自生地	植 物	根室市	S15. 2. 10
17	幌満ゴヨウマツ自生地	植 物	様似町	S18. 8. 24
18	和琴ミンミンゼミ発生地	動 物	弟子屈町	S26. 6. 9
19	大黒島海鳥繁殖地	動 物	厚岸町	S26. 6. 9
20	ウスバキチョウ	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
21	ダイセツタカネヒカゲ	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
22	アサヒヒョウモン	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
23	クマゲラ	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
24	イヌワシ	動 物	主な生息地宮城県	S40. 5. 12
25	カラフトトリシジミ	動 物	主な生息地北海道	S42. 5. 2
26	釧路湿原	天然保護 区域	標茶町・鶴居村・ 釧路町	S42. 7. 6
27	オジロワシ	動 物	主な生息地北海道・ 新潟県	S45. 1. 23

28	オオワシ	動物	主な生息地北海道・石川県・福井県	S45. 1. 23
29	沙流川源流原始林	天然保護区域	日高町	S45. 12. 4
30	エゾシマフクロウ	動物	主な生息地北海道	S46. 5. 19
31	コクガン	動物	主な生息地北海道・青森県・秋田県	S46. 5. 19
32	ヒシクイ	動物	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
33	マガン	動物	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
34	女満別湿生植物群落	植物	大空町	S47. 6. 14
35	松前小島	天然保護区域	松前町	S47. 12. 12
36	ヒメチャマダラセセリ	動物	主な生息地北海道	S50. 2. 13
37	エゾミカサリュウ化石	地質鉱物	三笠市	S52. 7. 16
38	標津湿原	天然保護区域	標津町	S54. 8. 7
39	焼尻の自然林（植物）	植物	羽幌町	S58. 8. 30
40	夕張岳の高山植物群落および蛇紋岩メランジュ帯	植物・地質鉱物	夕張市・南富良野町	H8. 6. 19
41	オンネトー湯の滝マンガン酸化物生成地	植物・地質鉱物	足寄町	H12. 9. 6

〔重要伝統的建造物群保存地区〕

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	函館市元町末広町	函館市	H1. 4. 21

〔重要文化的景観〕

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	平取町	H19. 7. 16

・国指定文化財一覧は→

<http://www.dokyo.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-bunkagaiyo.htm>

（３）道指定文化財一覧

道指定文化財とは、北海道文化財保護条例に基づき、北海道文化財保護審議会の答申を受けて、北海道教育委員会が指定して保存を図る文化財です。

〔有形文化財〕

（平成 27 年 3 月 31 日現在）

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	樽岸出土の石器	考古資料	函館市	S32. 12. 20
2	野幌屯田兵第二中隊本部	建 造 物	江別市	S33. 4. 10

3	阿弥陀如来立像	彫 刻	恵庭市	S34. 2. 24
4	釈迦如来立像	彫 刻	伊達市	S34. 2. 24
5	夷酋列像粉本	絵 画	函館市	S34. 2. 24
6	にしん漁場建築	建 造 物	小樽市	S35. 5. 31
7	旧松前城本丸表御殿玄関	建 造 物	松前町	S38. 7. 26
8	旧函館博物館一号	建 造 物	函館市	S38. 7. 26
9	旧函館博物館二号	建 造 物	函館市	S38. 7. 26
10	旧金森洋物店	建 造 物	函館市	S38. 7. 26
11	茅部の鯡供養塔	歴史資料	森町	S38. 12. 24
12	琴似屯田兵屋	建 造 物	札幌市	S39. 10. 3
13	アイヌ丸木舟および推進具	考古資料	苫小牧市	S42. 6. 22
14	東蝦新道記	歴史資料	広尾町	S43. 1. 18
15	女満別石刃鏃遺跡出土の遺物	考古資料	大空町	S43. 1. 18
16	大樹遺跡出土の遺物	考古資料	大樹町	S43. 1. 18
17	漁場建築佐藤家	建 造 物	寿都町	S43. 3. 29
18	岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物	考古資料	岩内町	S43. 3. 29
19	静内御殿山墳墓群出土の遺物	考古資料	新ひだか町	S43. 3. 29
20	石崎八幡神社の鰐口	歴史資料	函館市	S43. 3. 29
21	釈迦涅槃図蠣崎波響筆	絵 画	函館市	S43. 3. 29
22	楳法華出土の尖底土器	考古資料	函館市	S43. 3. 29
23	和田屯田兵村の被服庫	建 造 物	根室市	S43. 12. 18
24	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	考古資料	函館市	S45. 2. 12
25	刀銘源正雄	工 芸	函館市	S45. 2. 12
26	新羅之記録	古 文 書	奥尻町	S45. 2. 12
27	本願寺駅通	建 造 物	沼田町	S46. 3. 5
28	徳山大神宮	建 造 物	松前町	S46. 3. 5
29	住吉町遺跡出土の遺物	考古資料	函館市	S46. 3. 5
30	板碑（貞治の碑）	考古資料	函館市	S46. 3. 5
31	サイベ沢遺跡出土の遺物	考古資料	函館市	S46. 3. 5
32	板碑（戸井町の碑）	考古資料	函館市	S46. 3. 5
33	美唄屯田兵屋	建 造 物	美唄市	S47. 2. 17
34	礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像	考古資料	礼文町	S47. 2. 17
35	太田屯田兵屋	建 造 物	厚岸町	S49. 2. 28
36	天内山遺跡出土の遺物	考古資料	余市町	S51. 5. 21
37	円空作観音像	彫 刻	釧路市	S52. 3. 11
38	円空作観音像	彫 刻	広尾町	S52. 3. 11

39	円空作十一面観音立像	彫 刻	上ノ国町	S52. 3. 11
40	円空作聖観音像	彫 刻	伊達市	S52. 3. 11
41	松前屏風	絵 画	松前町	S52. 9. 12
42	亦稚貝塚出土の遺物	考古資料	利尻町	S54. 3. 29
43	旧小納家住宅	建 造 物	羽幌町	S54. 11. 27
44	札幌市K-446遺跡出土の遺物	考古資料	札幌市	S55. 8. 12
45	南川遺跡出土の遺物	考古資料	せたな町	S56. 3. 31
46	ホロナイボ遺跡出土の遺物	考古資料	枝幸町	S56. 10. 29
47	砂館神社本殿	建 造 物	上ノ国町	S60. 3. 30
48	薙刀銘堀井正次	工 芸	松前町	S60. 3. 30
49	熊石の山海漁獵供養塔	歴史資料	八雲町	S60. 3. 30
50	不動明王立像	彫 刻	松前町	S60. 3. 30
51	旧北海道庁函館支庁庁舎	建 造 物	函館市	S60. 3. 30
52	旧開拓使函館支庁書籍庫	建 造 物	函館市	S60. 3. 30
53	旧永山武四郎邸	建 造 物	札幌市	S62. 11. 27
54	木造阿弥陀如来立像	彫 刻	松前町	S63. 9. 10
55	木造地藏菩薩立像	彫 刻	八雲町	S63. 9. 10
56	幌加川遺跡出土の石器群	考古資料	遠軽町	H3. 3. 30
57	木造日蓮聖人坐像	彫 刻	松前町	H4. 3. 31
58	法華寺寛保津波の碑	歴史資料	江差町	H4. 3. 31
59	正覚院寛保津波の碑	歴史資料	江差町	H4. 3. 31
60	旧檜山爾志郡役所庁舎	建 造 物	江差町	H4. 3. 31
61	入江馬頭観世音碑	歴史資料	洞爺湖町	H4. 3. 31
62	木造五百羅漢像	彫 刻	小樽市	H6. 2. 9
63	奥行白駒通	建 造 物	別海町	H6. 6. 3
64	滝里遺跡群出土遺物	考古資料	芦別市	H12. 4. 14
65	絵馬カミイノミの図	絵 画	豊頃町	H13. 3. 30
66	光明寺寛保津波の碑	歴史資料	松前町	H13. 3. 30
67	泉龍院寛保津波の碑	歴史資料	松前町	H13. 3. 30
68	無量寺寛保津波の碑	歴史資料	八雲町	H13. 3. 30
69	宮歌村文書	古 文 書	福島町	H16. 9. 22
70	木造十一面観音立像	彫 刻	苫前町	H19. 3. 20
71	赤彩注口土器	考古資料	八雲町	H19. 3. 20
72	初田牛20遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物	考古資料	根室市	H20. 3. 18
73	大乘妙典一千部供養塔	歴史資料	北斗市	H22. 3. 16
74	知里幸恵ノート	歴史資料	江別市（北海道立図書館）	H22. 3. 16

75	大麻3遺跡出土の土偶	考古資料	江別市	H24. 3. 19
76	二風谷遺跡群出土品	考古資料	平取町	H24. 3. 19
77	斜里朱円周堤墓群出土品	考古資料	斜里町	H25. 3. 29
78	入江貝塚出土品	考古資料	洞爺湖町	H26. 3. 31
79	北海道家庭学校礼拝堂	建 造 物	遠軽町	H27. 3. 31

〔有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差姥神町横山家	江差町	S38. 12. 24
2	江差町姥神神社祭礼山車神功山人形および附属品	江差町(神功山保存会)	S38. 12. 24
3	江差町姥神神社祭礼山車松宝丸	江差町(松宝丸保存会)	S38. 12. 24
4	求福山山車の人形その他附属品	松前町	S52. 9. 11
5	石狩弁天社の鮫様(妙亀・法鮫大明神像)	石狩市	H19. 3. 20
6	金龍寺の鮫様(龍神・妙亀菩薩・鮫神像)	石狩市	H19. 3. 20

〔無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差沖揚げ音頭	江差町	S52. 3. 11
2	五勝手鹿子舞	江差町	S52. 3. 11
3	松前祇園ばやし	松前町	S52. 3. 11
4	江差追分	江差町	S52. 4. 13
5	江差三下り	江差町	S57. 6. 30
6	江差餅つき囃子	江差町	S57. 6. 30
7	松前神楽	松前町 福島町 函館市 小樽市	H20. 6. 13

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	地鎮山環状列石	小樽市	S25. 8. 28
2	西崎山環状列石	余市町	S26. 9. 6
3	浦幌新吉野台細石器遺跡	浦幌町	S26. 9. 6
4	宗谷の護国寺跡	稚内市	S32. 1. 29
5	斜里朱円周堤墓群 (H25. 3. 29「斜里朱円周堤墓及び出土遺物」から名称変更)	斜里町	S32. 1. 29
6	神居古潭竪穴住居遺跡	旭川市	S32. 12. 20
7	静内御殿山墳墓群	新ひだか町	S38. 12. 24

8	門別富仁家噴墓群	日高町	S38. 12. 24
9	オムサロ台地竪穴群	紋別市	S39. 10. 3
10	十勝ホロカヤントー竪穴群	大樹町	S41. 7. 7
11	浜頓別クッチャロ湖畔竪穴群	浜頓別町	S41. 7. 7
12	鶴川盛土墳墓群	むかわ町	S41. 7. 7
13	厚岸神岩砦跡及び竪穴群	厚岸町	S41. 7. 7
14	開拓使三角測量勇払基点	苫小牧市	S42. 3. 17
15	古武井熔鉱炉跡	函館市	S42. 3. 17
16	女那川煉瓦製造所跡	函館市	S42. 3. 17
17	恵山貝塚	函館市	S42. 3. 17
18	シブノツナイ竪穴住居跡	湧別町	S42. 3. 17
19	朱円竪穴住居跡群	斜里町	S42. 6. 22
20	岩内東山円筒文化遺跡	岩内町	S43. 3. 29
21	興部豊野竪穴住居跡	興部町	S43. 12. 18
22	十勝オコッベ遺跡	浦幌町	S51. 5. 21
23	十勝太遺跡群	浦幌町	S51. 5. 21
24	野花南周堤墓群	芦別市	H12. 4. 14
25	開拓使三角測量一本木基点	北斗市	H16. 9. 22
26	青苗砂丘遺跡	奥尻町	H20. 3. 18

〔名 勝〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	小清水海岸	小清水町	S26. 9. 6
2	羽衣の滝	東川町	S26. 9. 6

〔天然記念物〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	斜里海岸の草原群落	植 物	斜里町	S25. 8. 28
2	中頓別鍾乳洞	地質鉱物	中頓別町	S32. 1. 29
3	佐呂間湖畔鶴沼のアクセシソウ群落	植 物	湧別町	S32. 1. 29
4	温根湯エゾムラサキツツジ群落	植 物	北見市	S32. 1. 29
5	礼文島桃岩付近一帯の野生植物	植 物	礼文町	S34. 9. 11
6	当麻鍾乳洞	地質鉱物	当麻町	S36. 3. 17
7	札内川流域化粧柳自生地	植 物	帯広市	S37. 4. 3
8	更別湿原のヤチカンバ	植 物	更別村	S38. 7. 26
9	ユルリ・モユルリ島海鳥繁殖地	動 物	根室市	S38. 10. 15

10	羅臼のひかりごけ	植 物	羅臼町	S38. 12. 24
11	大津海岸トイトツキ浜野生植物群落	植 物	豊頃町	S38. 12. 24
12	大津海岸長節湖畔野生植物群落	植 物	豊頃町	S38. 12. 24
13	雨竜沼高層湿原帯	天然保護 区域	雨竜町	S39. 10. 3
14	白滝の流紋岩球顆	地質鉱物	遠軽町	S39. 10. 3
15	二股温泉の石灰華	地質鉱物	長万部町	S40. 6. 14
16	樽前山熔岩円頂丘	地質鉱物	苫小牧市	S42. 3. 17
17	大正のカシワ林	植 物	帯広市	S43. 1. 18
18	茅部の栗林	植 物	森町	S43. 1. 18
19	新冠泥火山	地質鉱物	新冠町	S43. 1. 18
20	羅臼の間歇泉	地質鉱物	羅臼町	S43. 3. 19
21	利尻島のチシマザクラ自生地	植 物	利尻町	S43. 12. 18
22	然別湖のオショロコマ生息地	動 物	鹿追町・ 上土幌町	S43. 12. 18
23	稚咲内海岸砂丘林	植 物	豊富町	S46. 4. 21
24	厚岸床潭沼の緋鮒生息地	動 物	厚岸町	S47. 4. 1
25	乙部鮪ノ岬の安山岩柱状節理	地質鉱物	乙部町	S47. 4. 1
26	オシエンコシエン粗粒玄武岩柱状節理	地質鉱物	斜里町	S48. 3. 14
27	夕張の石炭大露頭	地質鉱物	夕張市	S49. 12. 6
28	帯広畜産大学農場の構造土十勝坊主	地質鉱物	帯広市	S49. 12. 6
29	タキカワカイギュウ化石標本	地質鉱物	滝川市	S59. 3. 12
30	レブンアツモリソウ群生地	植 物	礼文町	H 6. 6. 3
31	黄金水松	植 物	芦別市	H14. 3. 29
32	空知大滝甌穴群	地質鉱物	芦別市	H23. 3. 15
33	西別湿原ヤチカンバ群落地	植 物	別海町	H23. 3. 15

・道指定文化財一覧は→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-do-sitei.htm>

(4) 管内別市町村指定文化財一覧

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

管内	有形文化財			無 形 文化財	民俗文化財		史跡	名勝	天 然 記念物	伝統的 建造物群 保存地区	計
	建造物		美 術 工芸品								
	件数	(棟数)									
空知	16	(17)	38	3	4	17	11	0	9	0	98
石狩	8	(8)	24	2	3	3	5	0	4	0	49
後志	9	(9)	28	1	0	11	26	2	10	0	87
胆振	9	(9)	41	0	11	14	24	0	13	0	112
日高	1	(1)	18	5	0	0	2	1	1	0	28
渡島	2	(2)	113	0	18	15	9	4	8	1	170
桧山	7	(10)	50	0	9	13	4	1	1	0	85
上川	15	(16)	19	3	0	10	16	0	19	0	82
留萌	3	(3)	5	0	3	8	42	0	1	0	62
宗谷	15	(15)	13	0	0	3	14	0	7	0	52
オホーツク	8	(8)	12	0	4	1	7	0	7	0	39
十勝	3	(3)	37	2	1	8	7	0	15	0	73
釧路	3	(3)	14	1	0	3	6	0	14	0	41
根室	3	(7)	16	0	1	2	6	0	20	0	48
合計	102	(111)	428	17	54	108	179	8	129	1	1,026

- ・市町村指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/grp/03/itiran220401.pdf>

- ・函館市（渡島）が定める伝統的建造物群保存地区は、国選定「重要伝統的建造物群保存地区」の範囲と同じ。

(5) 管内別登録文化財

管内	有形文化財	記念物
空知	25	0
石狩	27	0
後志	14	0
胆振	6	0
日高	2	0

管内	有形文化財	記念物
渡島	19	1
檜山	1	0
上川	13	0
留萌	0	0
宗谷	3	0

管内	有形文化財	記念物
オホーツク	13	0
十勝	7	0
釧路	1	0
根室	8	0
合計	139	1

(6) 登録文化財一覧

登録文化財とは、文化財保護法に基づき、国・地方公共団体指定以外の有形文化財(建造物)もしくは記念物(名勝)のうち、保存活用のための措置が特に必要なものを文部科学大臣が文化財登録原簿に登録して保存を図るものです。

〔登録有形文化財(建造物)〕

(平成27年3月31日現在)

No.	名 称	所 在 地	登録年月日
1	札幌市資料館 (旧札幌控訴院)	札幌市	H9. 5. 7
2	五島軒本店旧館	函館市	H9. 5. 7
3	北海道大学古河記念講堂 (旧東北帝国大学農科大学林学科教室)	札幌市	H9. 9. 3
4	旧国鉄根北線越川橋梁	斜里町	H10. 7. 23
5	北星学園創立百周年記念館 (旧北星女学校宣教師館)	札幌市	H10. 9. 2
6	日本キリスト教団札幌教会 (旧札幌美以教会堂)	札幌市	H10. 9. 2
7	室蘭市旧室蘭駅舎	室蘭市	H11. 7. 8
8	旧国鉄士幌線勇川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
9	旧国鉄士幌線第三音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
10	旧国鉄士幌線第五音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
11	旧国鉄士幌線十三の沢橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
12	北海道知事公館 (旧三井クラブ)	札幌市	H11. 10. 14
13	杉野目家住宅	札幌市	H11. 10. 14
14	旧丹波屋旅館和館	中頓別町	H12. 2. 15
15	旧丹波屋旅館洋館	中頓別町	H12. 2. 15
16	北海道大学農学部博物館バチエラー記念館	札幌市	H12. 4. 28
17	北海道大学附属植物園庁舎 (旧札幌農学校動植物学教室)	札幌市	H12. 4. 28
18	北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室	札幌市	H12. 4. 28
19	北海道大学旧札幌農学校図書館読書室	札幌市	H12. 4. 28
20	北海道教育大学函館校北方教育資料室 (旧函館師範学校)	函館市	H12. 4. 28
21	北海道大学農学部附属苫小牧地方演習林森林記念館 (旧標本貯蔵室)	苫小牧市	H12. 4. 28
22	北海道大学文学部二風谷研究室 (旧マンロー邸)	平取町	H12. 4. 28
23	北海道大学旧札幌農学校図書館書庫	札幌市	H12. 4. 28
24	プレイリー・ハウス (旧佐田邸)	函館市	H12. 4. 28
25	エドウィン・ダン記念館 (旧北海道庁真駒内種畜場事務所)	札幌市	H12. 9. 26
26	函館中華会館	函館市	H13. 4. 24
27	旧西岡水源池取水塔	札幌市	H13. 8. 28
28	北海道林木育種場旧庁舎	江別市	H13. 8. 28
29	根室市明治公園第一サイロ	根室市	H13. 8. 28
30	根室市明治公園第二サイロ	根室市	H13. 8. 28

31	根室市明治公園第三サイロ	根室市	H13. 8. 28
32	旧中村平八郎家住宅主屋	むかわ町	H13. 8. 28
33	旧国鉄富内線富内駅舎	むかわ町	H13. 8. 28
34	旧国鉄富内線富内駅プラットフォーム	むかわ町	H13. 8. 28
35	旧国鉄富内線富内駅構内線路	むかわ町	H13. 8. 28
36	上川倉庫事務所	旭川市	H13. 11. 20
37	上川倉庫一号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
38	上川倉庫二号倉庫（リハーサルホール）	旭川市	H13. 11. 20
39	上川倉庫三号倉庫（チェアーズギャラリー）	旭川市	H13. 11. 20
40	上川倉庫八号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
41	上川倉庫十号倉庫（デザインギャラリー）	旭川市	H13. 11. 20
42	上川倉庫十一号倉庫（大雪地ビール館）	旭川市	H13. 11. 20
43	あさでん春光整備工場（旧陸軍第七師団騎兵第七連隊覆馬場）	旭川市	H13. 11. 20
44	松岡家住宅	旭川市	H13. 11. 20
45	最創山光岸寺本堂	旭川市	H13. 11. 20
46	旧北陸銀行江別支店	江別市	H14. 2. 14
47	遺愛学院講堂	函館市	H14. 6. 25
48	石崎漁港トンネル	上ノ国町	H15. 1. 31
49	旧国鉄士幌線第六音更川橋梁	上士幌町	H15. 1. 31
50	旧国鉄士幌線音更トンネル	上士幌町	H15. 1. 31
51	ニッカウキスキー北海道工場事務所棟	余市町	H17. 2. 9
52	ニッカウキスキー北海道工場蒸溜棟	余市町	H17. 2. 9
53	ニッカウキスキー北海道工場貯蔵棟	余市町	H17. 2. 9
54	ニッカウキスキー北海道工場リキュール棟	余市町	H17. 2. 9
55	ニッカウキスキー北海道工場第一乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
56	ニッカウキスキー北海道工場第二乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
57	ニッカウキスキー北海道工場研究室	余市町	H17. 2. 9
58	ニッカウキスキー北海道工場旧竹鶴邸	余市町	H17. 2. 9
59	ニッカウキスキー北海道工場第一貯蔵庫	余市町	H17. 2. 9
60	函館大手町ハウス（旧浅野セメント函館営業所）	函館市	H17. 7. 12
61	遺愛学院（旧遺愛女学校）謝恩館	函館市	H17. 7. 12
62	博物館網走監獄教誨堂	網走市	H17. 7. 12
63	博物館網走監獄五翼放射状平屋舎房	網走市	H17. 7. 12
64	博物館網走監獄二見ヶ岡農場	網走市	H17. 7. 12
65	J R小樽駅本屋	小樽市	H18. 3. 27
66	J R小樽駅プラットホーム	小樽市	H18. 3. 27

67	熊谷家住宅主屋	北斗市	H18. 3. 27
68	旧北炭夕張炭鉱専用鉄道高松跨線橋	夕張市	H18. 10. 18
69	旧北炭夕張炭鉱天龍坑人車斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
70	旧北炭夕張炭鉱天龍坑資材斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
71	旧北炭夕張炭鉱模擬坑道	夕張市	H18. 10. 18
72	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線拱橋	夕張市	H18. 10. 18
73	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線スキップ隧道	夕張市	H18. 10. 18
74	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線ベルト隧道西坑門	夕張市	H18. 10. 18
75	小林酒造旧事務所（蔵元北の錦記念館）	栗山町	H18. 10. 18
76	小林酒造旧ビール庫・缶詰資材庫（大正・昭和の暮らし館）	栗山町	H18. 10. 18
77	小林酒造旧精米場（酒の郷なつかしホール）	栗山町	H18. 10. 18
78	小林酒造旧資材庫(昔の酒道具展示館)	栗山町	H18. 10. 18
79	小林酒造一番蔵	栗山町	H18. 10. 18
80	小林酒造二番蔵	栗山町	H18. 10. 18
81	小林酒造三番蔵	栗山町	H18. 10. 18
82	小林酒造四番蔵	栗山町	H18. 10. 18
83	小林酒造五番蔵	栗山町	H18. 10. 18
84	小林酒造六番蔵	栗山町	H18. 10. 18
85	小林酒造製麹室	栗山町	H18. 10. 18
86	小林酒造蒸米場	栗山町	H18. 10. 18
87	小林家住宅主屋	栗山町	H18. 10. 18
88	沼田家住宅旧りんご倉庫	札幌市	H18. 11. 29
89	旧幌向駅通所	南幌町	H18. 11. 29
90	斉藤家住宅（旧盛田家住宅）主屋	森町	H19. 7. 31
91	順誓寺本堂	津別町	H19. 7. 31
92	北村家住宅主屋（旧土田旅館）	中標津町	H19. 10. 2
93	星槎大学(旧頼城小学校)校舎	芦別市	H20. 3. 7
94	星槎大学(旧頼城小学校)体育館	芦別市	H20. 3. 7
95	旧上藻別駅通所	紋別市	H20. 10. 23
96	旧三井芦別鉄道炭山川橋梁	芦別市	H21. 1. 8
97	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）農具庫	中標津町	H21. 8. 7
98	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）種苗倉庫	中標津町	H21. 8. 7
99	伝成館（旧北海道農事試験場根室支場庁舎）	中標津町	H21. 8. 7
100	中標津町郷土館緑ヶ丘文館（旧北海道農事試験場根室支場陳列館）	中標津町	H21. 8. 7
101	正行寺鐘楼	厚岸町	H21. 8. 7
102	黒田家住宅主屋	札幌市	H22. 9. 10

103	黒田家住宅蔵	札幌市	H22. 9. 10
104	黒田家住宅表門	札幌市	H22. 9. 10
105	黒田家住宅石塀	札幌市	H22. 9. 10
106	旧青山家別邸主屋	小樽市	H22. 9. 10
107	旧青山家別邸文庫蔵	小樽市	H22. 9. 10
108	旧青山家別邸板塀	小樽市	H22. 9. 10
109	双葉幼稚園園舎	帯広市	H22. 9. 10
110	夕張鹿鳴館（旧北炭鹿ノ谷倶楽部）	夕張市	H23. 10. 28
111	高龍寺本堂	函館市	H24. 2. 23
112	高龍寺開山堂	函館市	H24. 2. 23
113	高龍寺山門及び袖塀	函館市	H24. 2. 23
114	高龍寺防火塀	函館市	H24. 2. 23
115	高龍寺金毘羅堂	函館市	H24. 2. 23
116	高龍寺水盤舎	函館市	H24. 2. 23
117	高龍寺鐘楼	函館市	H24. 2. 23
118	高龍寺宝蔵	函館市	H24. 2. 23
119	高龍寺位牌堂	函館市	H24. 2. 23
120	高龍寺土塀	函館市	H24. 2. 23
121	沼田家住宅旧第二りんご倉庫	札幌市	H24. 8. 13
122	柳田家住宅旧りんご蔵	札幌市	H24. 8. 13
123	博物館網走監獄庁舎	網走市	H24. 8. 13
124	博物館網走監獄煉瓦造独居房	網走市	H24. 8. 13
125	博物館網走監獄鏡橋入口哨舎	網走市	H24. 8. 13
126	博物館網走監獄鏡橋出口哨舎	網走市	H24. 8. 13
127	博物館網走監獄西門哨舎	網走市	H24. 8. 13
128	博物館網走監獄裏門	網走市	H24. 8. 13
129	博物館網走監獄裏門哨舎	網走市	H24. 8. 13
130	旧岡田家住宅主屋	旭川市	H25. 6. 21
131	旧岡田家住宅蔵	旭川市	H25. 6. 21
132	山崎家住宅主屋	旭川市	H25. 6. 21
133	旧瀬戸家住宅主屋	稚内市	H25. 6. 21
134	遠藤家住宅主屋	札幌市	H26. 10. 7
135	遠藤家住宅南石蔵	札幌市	H26. 10. 7
136	遠藤家住宅北石蔵	札幌市	H26. 10. 7
137	遠藤家住宅表門	札幌市	H26. 10. 7
138	遠藤家住宅塀	札幌市	H26. 10. 7

139	飯田家住宅座敷棟	日高町	H26. 12. 19
-----	----------	-----	-------------

〔登録記念物〕

No.	名 称	所在地	登録年月日
1	函館公園	函館市	H18. 1. 26

・国登録文化財一覧は→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-tourokuitiran.htm>

(7) 平成 26 年度北海道文化財保護強調月間実施事業一覧

〔一般公開・展示会〕

市町村名	公 開 ・ 活 用 事 業 名	主 催 者
美唄市	〈道指定 有形文化財〉 美唄屯田兵屋の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 有形文化財〉 旧桜井家住宅の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 有形文化財〉 美唄屯田騎兵隊火薬庫の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 天然記念物〉 光珠内いん石の公開	美唄市郷土資料館
美唄市	〈市指定 有形文化財〉 4110 形式十輪連結タンク機関車 2 号の公開	美唄市教育委員会
芦別市	〈道指定 史跡〉 野花南周堤墓群の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈道指定 有形文化財〉 滝里遺跡群出土遺物の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈道指定 天然記念物〉 黄金水松の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈道指定 天然記念物〉 空知大滝甌穴群の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 有形文化財〉 旧干場家レンガ倉庫の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 天然記念物〉 新城仙台山の三本ナラの公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 有形文化財〉 毛抜形太刀の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈国登録 有形文化財〉 星槎大学(旧頼城小学校)校舎の公開	星槎大学
芦別市	〈国登録 有形文化財〉 星槎大学(旧頼城小学校)体育館の公開	星槎大学
芦別市	〈国登録 有形文化財〉 旧三井芦別鉄道炭山川橋梁の公開	星の降る里百年記念館
滝川市	〈市指定 天然記念物〉 タキカワカイギュウ化石の公開	滝川市美術自然史館
滝川市	〈市指定 有形文化財〉 屯田兵屋の公開	滝川市教育委員会
滝川市	〈市指定 有形文化財〉 牧羊用石造サイロの公開	滝川市教育委員会
砂川市	郷土資料室常設展示	砂川市公民館
砂川市	郷土資料室特別展「明治・大正・昭和の街並みを地図で」の開催	砂川市公民館
深川市	企画展示「音江環状列石の歴史」の開催	深川市生きがい文化センター
栗山町	〈国登録 有形文化財〉 小林家の公開	株式会社小林家
妹背牛町	〈町指定 有形文化財〉 獅子頭、天狗面の公開	妹背牛町郷土館
沼田町	〈町指定 有形文化財〉 クラウス 1 5 号蒸気機関車の公開	沼田町教育委員会
沼田町	〈道指定 有形文化財〉 本願寺駅通の公開	沼田町教育委員会
札幌市	企画展の開催	札幌市埋蔵文化財センター

札幌市	常設展示（歴史的建造物 52 棟）の公開	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	特別展「酪農と北海道」の公開	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	第 29 回児童写生会絵画展の開催	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	紅葉のむら・宵のたてものライトアップ	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	市所有文化財の公開	札幌市観光文化局文化部
札幌市	〈市指定 有形文化財〉 N30 遺跡出土資料の公開	札幌市埋蔵文化財センター
札幌市	〈国登録 有形文化財〉 宮部金吾記念館の公開	北海道大学植物園
江別市	北海道立埋蔵文化財センター常設展示	北海道立埋蔵文化財センター
江別市	「北海道遺跡百選 7ー北海道埋蔵文化財センターの調査からー」展の開催	北海道立埋蔵文化財センター
江別市	「世界遺産をめざす北の縄文展」の開催	北海道立埋蔵文化財センター
江別市	常設展示	江別市郷土資料館
千歳市	常設展示	千歳市埋蔵文化財センター
恵庭市	「恵庭の発掘史」展の開催	恵庭市郷土資料館
恵庭市	「特別史跡 2014 国指定重要文化財カリンバ遺跡出土品」展の開催	恵庭市郷土資料館
石狩市	〈国指定 史跡〉 荘内藩ハママシケ陣屋跡の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈道指定 有形民俗文化財〉 金龍寺の鮫様の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 天然記念物〉 チョウザメの剥製の公開	いしかり砂丘の風資料館
石狩市	〈市指定 有形文化財〉 石狩弁天社の手水鉢の公開	いしかり砂丘の風資料館
石狩市	〈市指定 有形文化財〉 旧長野商店の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 有形文化財〉 石狩弁天社の公開	いしかり砂丘の風資料館
石狩市	常設展示	はまなす郷土資料館
石狩市	常設展示	石狩市厚田資料室
石狩市	常設展示	いしかり砂丘の風資料館
石狩市	テーマ展「川と人と漁ー遺跡にみる縄文の河川漁」の開催	いしかり砂丘の風資料館
当別町	常設展示	伊達記念館／伊達邸別館
小樽市	〈国指定 重要文化財〉 旧手宮鉄道施設の公開 〈市指定 史跡〉 北海道鉄道開通起点の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈市指定 有形文化財〉 木造聖観音立像の公開	浅草観音寺
小樽市	〈市指定 有形文化財〉 日本銀行旧小樽支店(金融資料館)の公開	日本銀行金融資料館
小樽市	〈道指定 史跡〉 地鎮山環状列石の公開	小樽市教育委員会
小樽市	〈道指定 有形文化財〉 にしん漁場建築の公開	小樽市産業港湾部観光振興室
小樽市	〈道指定 有形文化財〉 木造五百羅漢像の公開	宗圓寺
小樽市	〈国指定 史跡〉 手宮洞窟の公開	手宮洞窟保存館
小樽市	〈国指定 史跡〉 忍路環状列石の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈国登録 有形文化財〉 JR 小樽駅の公開	JR 小樽駅
小樽市	〈国登録 有形文化財〉 旧青山家別邸の公開	小樽貴賓館 旧青山別邸

小樽市	〈市指定 歴史的建造物〉坂牛邸の公開	NPO 小樽ワークス
小樽市	企画展「保存修理工事パネル展」の開催	小樽市総合博物館
寿都町	文化財展示室の公開	寿都町総合文化センター
留寿都村	郷土資料室の公開	留寿都村公民館
積丹町	積丹町文化祭（展示の部）	積丹町教育委員会
室蘭市	〈市指定 有形文化財、有形民俗文化財〉仙台藩角田領添田家関係資料、南部藩陣屋跡出土砲弾、友情人形の公開	室蘭市民俗資料館
室蘭市	〈市指定 有形文化財、有形民俗文化財〉輪西屯田兵記念碑、輪西屯田兵旧火薬庫、輪西屯田兵関係資料の公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈市指定 天然記念物〉白鳥大橋海底部等出土の材化石及び貝化石標本の公開	白鳥大橋記念館みたら
室蘭市	〈国登録 有形文化財〉室蘭市旧室蘭駅舎の公開	室蘭観光協会
室蘭市	〈国指定 史跡〉東蝦夷地南部藩陣屋跡モロラン陣屋跡の公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈国指定 名勝〉名勝ピリカノカ絵鞆半島外海岸の公開	室蘭市教育委員会
苫小牧市	〈国登録 有形文化財〉森林記念館（旧標本貯蔵室）の公開	北海道大学苫小牧研究林
苫小牧市	〈道指定 有形文化財〉アイヌの丸木舟及び推進具の公開	苫小牧市美術博物館
苫小牧市	〈国指定 史跡〉静川遺跡の出土土器の展示	苫小牧市美術博物館
登別市	「片倉家主従の北海道登別移住」展の開催	登別市郷土資料館
登別市	考古学常設展示	登別文化交流館カント・レラ
白老町	蔵出し資料展「三好藍物の作品展」の開催	仙台藩白老元陣屋資料館
白老町	埋蔵文化財巡回展「史跡 白老仙台藩陣屋跡編」の開催	仙台藩白老元陣屋資料館
厚真町	特別展「厚真町の擦文時代」の開催	厚真町総合福祉センター
平取町	常設展示	沙流川歴史館
平取町	常設展示	平取町二風谷アイヌ文化博物館
新ひだか町	〈町指定 有形文化財〉静内御殿山墳墓群出土の遺物の公開	新ひだか町静内郷土館
新ひだか町	〈町指定 有形文化財〉静内中野式土器の公開	新ひだか町静内郷土館
新ひだか町	〈町指定 有形文化財〉エゾオオカミ頭蓋骨の公開	新ひだか町アイヌ民俗資料館
函館市	〈国指定 有形文化財〉旧函館区公会堂の公開	函館区公会堂
函館市	〈市指定 有形文化財〉旧イギリス領事館常設展示	函館市旧イギリス領事館
函館市	常設展示	函館市写真歴史館
函館市	企画展「新収蔵資料展」の開催	市立函館博物館
函館市	常設展示	市立函館博物館
函館市	常設展示	函館市郷土資料館
福島町	〈町指定 有形文化財〉円空仏（レプリカ）の一般公開	福島町青函トンネル記念館
知内町	〈国指定 重要文化財〉湯の里4遺跡土壙出土品の公開	知内町郷土資料館
七飯町	〈町指定 有形文化財〉迫田家文書の公開	七飯町歴史館
森町	町内埋蔵文化財の常設展示	森町教育委員会
八雲町	〈国指定 重要文化財〉「コタン温泉遺跡出土品」展の開催	八雲町郷土資料館

八雲町	八雲町郷土資料館常設展示	八雲町郷土資料館
長万部町	長万部町民センター常設展示	長万部町民センター
長万部町	長万部平和祈念館常設展示	長万部平和祈念館
江差町	〈国指定 重要文化財〉 旧中村家住宅の公開	江差町教育委員会
江差町	〈道指定 有形文化財〉 旧檜山爾志郡役所の公開	江差町教育委員会
上ノ国町	〈国指定 重要文化財〉 旧笹浪家住宅の公開	上ノ国町教育委員会
上ノ国町	〈国指定 史跡〉 上之国勝山館跡ガイダンス施設での公開	上ノ国町教育委員会
厚沢部町	「初公開！！あっさぶ文化遺産～厚沢部町文化遺産マップ中間成果報告」パネル展示	厚沢部町教育委員会
乙部町	乙部町公民館郷土資料室常設展示	乙部町公民館
せたな町	〈町指定 有形文化財〉 荻野吟子 遺品・資料の公開	瀬棚郷土館
奥尻町	奥尻島津波館常設展示	奥尻島津波館
奥尻町	稲穂ふれあい研修センター常設展示	稲穂ふれあい研修センター
今金町	〈国指定 重要文化財〉 ピリカ遺跡出土品の公開	ピリカ旧石器展示館
旭川市	〈市指定 有形文化財〉 上川郡農作試験所事務所棟の公開	旭川市教育委員会
旭川市	〈市指定 有形文化財〉 養蚕民家の公開	旭川市教育委員会
旭川市	〈市指定 有形文化財〉 旧神居古潭駅舎の公開	旭川市役所
旭川市	〈市指定 有形文化財〉 旭川兵村中隊記録及び屯田物語原画綴りの公開	旭川兵村記念館
旭川市	〈市指定 有形文化財〉 第七師団関係記録の公開	北鎮記念館
旭川市	旭川市博物館無料開放「アイヌ文化に親しむ日」	旭川市博物館
士別市	常設展示 2 「先史の世界」	士別市立博物館
士別市	常設展示 2 「北海道開拓の夜明け」	士別市立博物館
士別市	常設展示 2 「大正期の庶民生活」	士別市立博物館
士別市	常設展示 2 「士別の産業」	士別市立博物館
名寄市	「名寄市の史跡・文化財紹介展」の開催	名寄市北国博物館
富良野市	常設展示	富良野市博物館
鷹栖町	郷土資料の常設展示	鷹栖町郷土資料館
東神楽町	郷土資料展示室展示	つつじ館郷土資料展示室
東川町	郷土館の公開	東川町郷土館
東川町	〈町指定 有形文化財〉 明治の家の公開	東川町教育委員会
上富良野町	〈町指定 有形文化財〉 東中尋常高等小学校御神影奉置所の公開	上富良野町教育委員会
上富良野町	〈町指定 史跡〉 憩の楡跡の碑の公開	上富良野町教育委員会
上富良野町	〈町指定 史跡〉 富原地区の地神及び山の神の公開	上富良野町教育委員会
剣淵町	郷土資料の展示	剣淵町郷土資料館
下川町	常設展示	下川町ふるさと交流館
増毛町	〈国指定 重要文化財〉 旧本間家住宅の公開	増毛町教育委員会
小平町	資料館展示	小平町埋蔵文化財資料館

苫前町	〈町指定 有形文化財〉 修羅、須恵器の展示	苫前町郷土資料館
天塩町	常設展示	天塩川歴史資料館
浜頓別町	ブタウス遺跡発掘調査展示（特別展示）	浜頓別町多目的アリーナ
浜頓別町	ブタウス遺跡発掘調査展示（常設展示）	浜頓別町役場庁舎ロビー
枝幸町	〈国指定 重要文化財〉 北海道目梨泊遺跡出土品の公開	ホーツクミュージアムえさし
礼文町	〈国指定 重要文化財〉 礼文町船泊遺跡出土品の展示	礼文町郷土資料館
礼文町	〈道指定 有形文化財〉 礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像の展示	礼文町郷土資料館
網走市	〈町指定 史跡〉 モヨロ貝塚出土資料の特別展示（市内宿泊施設）	網走市立郷土博物館
網走市	〈町指定 史跡〉 モヨロ貝塚出土資料の特別展示（女満別空港）	網走市立郷土博物館
網走市	〈町指定 史跡〉 モヨロ貝塚出土資料の特別展示（市役所ロビー）	網走市立郷土博物館
網走市	〈町指定 史跡〉 モヨロ貝塚出土資料の特別展示（モヨロ貝塚館）	網走市立郷土博物館
網走市	〈町指定 史跡〉 モヨロ貝塚出土資料の特別展示（郷土博物館）	網走市立郷土博物館
北見市	企画展「大昔の北見」の開催	北網圏北見文化センター
北見市	〈市指定 有形文化財〉 武華駅通の公開	留辺蘂開拓資料館
北見市	美里洞窟遺跡の公開	北見市教育委員会
北見市	〈市指定 有形文化財〉 屯田兵人形の公開	明照寺
北見市	〈市指定 有形文化財〉 ピアソン記念館の公開	ピアソン記念館
北見市	〈市指定 有形文化財〉 ハッカ記念館の公開	ハッカ記念館
大空町	大空町女満別文化展の開催	大空町教育委員会
美幌町	常設展示	美幌博物館
津別町	ロビー常設ミニ展示	津別町中央公民館
斜里町	〈道指定 有形文化財〉 斜里朱円周堤墓群出土品関係資料の公開	斜里町立知床博物館
清里町	常設展示	清里町郷土資料館
訓子府町	〈町指定 有形文化財〉 増田遺跡及び緑丘 B 遺跡出土遺物の公開	くねっふ歴史館
遠軽町	〈国指定 重要文化財〉 北海道白滝遺跡郡出土品の公開	遠軽町埋蔵文化財センター
遠軽町	〈道指定 有形文化財〉 幌加川遺跡出土の石器群の公開	遠軽町埋蔵文化財センター
湧別町	常設展示	湧別町ふるさと館 JRY
湧別町	常設展示	湧別町郷土館
滝上町	郷土資料の展示	滝上町郷土館
帯広市	常設展示	帯広百年記念館
帯広市	〈市指定 有形文化財〉 十勝鉄道蒸気機関車 4 号及び客車コハ 23 号の公開	帯広市教育委員会
鹿追町	郷土資料室常設展示	鹿追町図書館
芽室町	農業関連資料及び町内出土埋蔵文化財等の常設展示	芽室町ふるさと歴史館
広尾町	常設展示無料開放	広尾町海洋博物館
幕別町	〈町指定 有形文化財〉 幕別町蝦夷文化考古館収蔵品の公開	幕別町蝦夷文化考古館
幕別町	〈町指定 有形文化財〉 札内 N 遺跡出土品の公開	幕別町ふるさと館

池田町	〈町指定 有形文化財〉高島郷土資料庫池田 3 遺跡及び十日川 5 遺跡出土品 35 点の公開	高島郷土資料庫
本別町	町指定文化財パネル常設展示	本別町中央公民館
陸別町	陸別町公民館〈国指定 史跡〉ユクエピラチャシ跡展の開催	陸別町公民館
浦幌町	開拓当時の測量図面展の開催	浦幌町立博物館
浦幌町	博物館収蔵展「紙に記された昭和史」の開催	浦幌町立博物館
釧路市	〈市指定 有形文化財〉 星兜（残欠）の公開	釧路市立博物館
釧路市	〈国指定 史跡〉 北斗遺跡の公開	北斗遺跡展示館
白糠町	上茶路遺跡出土資料の展示	白糠町公民館
根室市	〈道指定 有形文化財〉 和田屯田兵村の被服庫の公開	根室市和田屯田記念館
根室市	〈道指定 有形文化財〉 初田牛 20 遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物の公開	根室市歴史と自然の資料館
根室市	〈市指定 有形文化財〉 穂香堅穴群出土の動物意匠付土器、明治牧場の大金庫、俄羅斯船之圖及びワシレイラフロウ之圖の公開	根室市歴史と自然の資料館
根室市	〈国指定 史跡〉 根室半島チャシ跡群案内ガイドダンス	根室市歴史と自然の資料館
別海町	〈道指定 有形文化財〉 奥行臼駅通の公開	別海町教育委員会
別海町	〈町指定 有形文化財〉 奥行臼駅の公開	別海町教育委員会
別海町	〈町指定 有形文化財〉 旧別海村営軌道風連線奥行臼停留所の公開	別海町教育委員会
中標津町	〈国登録 有形文化財〉 旧北海道農事試験場根室支場陳列館の公開	中標津町郷土館緑が丘分館
標津町	旧根室標津線関係資料展の開催	標津町生涯学習センター
羅臼町	巡回企画展、松法川北岸遺跡出土品展の開催	羅臼町郷土資料館

〔イベント〕

市町村名	公 開 ・ 活 用 事 業 名	主 催 者
札幌市	漁村のむらびとのくらし	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	写真撮影会	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	第 33 回時計台まつり	時計台まつり実行委員会
札幌市	第 12 回人類遺跡トレイルウォーク	北海道大学
千歳市	勾玉をつくろう！	千歳市埋蔵文化財センター
洞爺湖町	縄文体験事業	入江・高砂貝塚館
平取町	文化的景観現地説明会	平取町立二風谷アイヌ文化博物館
様似町	アンモナイトクリーニング体験	様似郷土館
えりも町	猿留山道を歩く会	えりも町郷土資料館
函館市	北海道大学水産学部交響楽団コンサート	旧函館区公会堂
函館市	フルートアンサンブル Lapla コンサート	旧函館区公会堂
函館市	函館ホルンクラブコンサート	旧函館区公会堂
函館市	HAKODATE ENSEMBLE Lab concert	旧函館区公会堂
函館市	石丸典子&島聖子ヴォーカルコンサート	旧函館区公会堂
函館市	日本の歌「うたうコンサート」第 17 回定期コンサート	旧函館区公会堂

名寄市	郷土芸能フェスティバル	名寄市北国博物館
名寄市	名寄史跡めぐり	名寄市北国博物館
名寄市	九度山市民登山会	名寄市北国博物館
占冠村	占冠村総合文化祭	占冠村教育委員会
下川町	下川町民文化祭	下川町教育委員会
枝幸町	勾玉作り教室	オホーツクミュージアムえさし
礼文町	最北の縄文普及活用事業	礼文町教育委員会
礼文町	縄文八十八箇所めぐりスタンプラリー	礼文町教育委員会
網走市	モヨロ貝塚で骨角器づくり	網走市立郷土博物館
帯広市	文化財めぐり	帯広市教育委員会
中札内村	第 59 回中札内村民文化祭	中札内村教育委員会
陸別町	ふるさとの遺跡を歩く	陸別町教育委員会
弟子屈町	アイヌ文様しおり作り体験	弟子屈町屈斜路コタンアイヌ民俗資料館
弟子屈町	アイヌ民族衣装試着体験	弟子屈町屈斜路コタンアイヌ民俗資料館
弟子屈町	鑑別獅子舞の講演	弟子屈町総合文化祭事務局

〔講演・講座〕

市町村名	公開・活用事業名	主催者
札幌市	特別展開連講演会「北の大地と酪農」	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	博物館ボランティア体験講座	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	博物館ボランティアの集い 2014	一般財団法人北海道開拓の村
恵庭市	カリンバ土曜講座「第 4 回恵庭の発掘史」	恵庭市郷土資料館
室蘭市	文化財講演会	室蘭市教育委員会
洞爺湖町	縄文ロビー講座	入江・高砂貝塚館
様似町	アンモナイト講演会	様似町教育委員会
函館市	学芸員こぼれ話「函館にくらしたアイヌの人々」	市立函館博物館
網走市	ロビー展「北方のナイフから暮らしを支える道具」	道立北方民族博物館
北見市	ピアソン館 100 年記念事業講演会	北見市教育委員会
美幌町	歴史講座「身近な遺跡へ行ってみよう」	美幌町教育委員会
浦幌町	ミニ移動講座「史跡編」	浦幌町立博物館
厚岸町	古文書教室	厚岸町海事記念館
厚岸町	文化財歴史講演会	厚岸町海事記念館
白糠町	アイヌ文化出前講座（庶路小学校）	白糠町教育委員会

・平成 26 年度北海道文化財保護強調月間は一→

<http://www.dokyo.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkan.htm>

(8) 平成 26 年度文化財パトロール

国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地などの状況を把握し、計画的な維持・管理を行うため、文化財調査員 36 名を委嘱して計画的に巡視を行い、併せて文化財保護思想の普及を図りました。

	有形文化財 有形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	埋蔵文化財 包蔵地	合計
パトロール対象件数	53	52	12	47	12,091	
パトロール実施件数	40	45	8	28	253	374

(9) 平成 26 年度史跡名勝天然記念物の現状変更等許可件数 (※天然記念物のみ)

史跡名勝天然記念物の現状変更や、保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、文化庁長官、北海道教育委員会又は市町教育委員会の許可が必要となります。

〔国指定〕

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
文化庁長官	9	1	30	40
北海道教育委員会	0	0	7	7
市町教育委員会	0	0	0	0

〔道指定〕

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
北海道教育委員会	0	1	10	11

(10) 平成 26 年度銃砲刀剣類の登録状況

銃砲刀剣類は、公安委員会の許可証又は都道府県教育委員会の登録証がなければ所持できないため、銃砲刀剣類の登録などを行いました。

登 録	登録証再交付	所有者変更	登録証返納	製作承認	合計(件数)
114	40	817	56	16	1,043

2 埋蔵文化財

(1) 市町村別埋蔵文化財包蔵地一覧

空	岩見沢市	54		ニセコ町	194	渡	知内町	32	上	幌加内町	8	十	雄武町	50
	夕張市	16		真狩村	20		木古内町	61	川	(上川計)	1,073		(ホ-ツ計)	2,252
	美唄市	6		留寿都村	7		北斗市	106		留萌市	28		帯広市	61
	芦別市	93	後	喜茂別町	13		七飯町	72		増毛町	16		音更町	105
	赤平市	13		京極町	12		鹿部町	6		小平町	19		士幌町	40
	三笠市	12		俱知安町	21		森町	51		苫前町	15		上士幌町	74
	滝川市	10		共和町	31		八雲町	99		羽幌町	32		鹿追町	51
	砂川市	19		岩内町	13		長万部町	48		初山別村	7		新得町	30
	歌志内市	0		泊村	33		(渡島計)	951		遠別町	5		清水町	36
	深川市	78		神恵内村	10	島	江差町	64		天塩町	43	十	芽室町	65
知	南幌町	0		積丹町	17		上ノ国町	90		(留萌計)	165		中札内村	5
	奈井江町	22	志	古平町	11		厚沢部町	54		稚内市	140		更別村	16
	上砂川町	0		仁木町	24		乙部町	111		猿払村	18		大樹町	32
	由仁町	37		余市町	64		せたな町	70		浜頓別町	20		広尾町	21
	長沼町	61		赤井川村	66		奥尻町	32	宗	中頓別町	8		幕別町	132
	栗山町	37		(後志計)	804		今金町	59		枝幸町	71		池田町	58
	月形町	8		室蘭市	37		(檜山計)	480		豊富町	16		豊頃町	52
	浦臼町	48		苫小牧市	280		旭川市	216		礼文町	55		本別町	99
	新十津川	15	胆	登別市	33		士別市	47	谷	利尻町	11		足寄町	114
	妹背牛町	4		伊達市	89	山	名寄市	150		利尻富士町	20	勝	陸別町	55
石	秩父別町	8		豊浦町	20		富良野市	141		幌延町	20		浦幌町	58
	雨竜町	5		洞爺湖町	15		鷹栖町	28		(宗谷計)	379		(十勝計)	1,104
	北竜町	10		壮瞥町	1		東神楽町	25		網走市	168		釧路市	136
	沼田町	6		白老町	44		当麻町	18		北見市	471		釧路町	76
	(空知計)	562	振	安平町	79		比布町	22		紋別市	67		厚岸町	90
	札幌市	535		厚真町	136		愛別町	23		大空町	65		浜中町	121
	江別市	142		むかわ町	104		上川町	23		美幌町	128		標茶町	208
	千歳市	290		(胆振計)	838		東川町	23	オ	津別町	64		弟子屈町	50
	恵庭市	127		日高町	132		美瑛町	43		斜里町	378		鶴居村	73
	北広島市	59		平取町	127	上	上富良野町	37	ホ	清里町	35	鉤	白糠町	31
狩	石狩市	220	日	新冠町	43		中富良野町	35		小清水町	42		(鉤路計)	785
	当別町	18		新ひだか町	153		南富良野町	25		訓子府町	267		根室市	306
	新篠津村	2		浦河町	58		占冠村	11		置戸町	104		別海町	89
	(石狩計)	1,393	高	様似町	28		和寒町	36	ツ	佐呂間町	38		中標津町	67
	小樽市	102		えりも町	67		剣淵町	30		遠軽町	220		標津町	191
	島牧村	24		(日高計)	608		下川町	70	ク	湧別町	55		羅臼町	79
	寿都町	43		函館市	321		美深町	42		滝上町	15		(根室計)	731
	黒松内町	51	渡	松前町	122		音威子府村	10		興部町	39		計 12,125	
	蘭越町	48	島	福島町	33		中川町	10		西興部村	14		(前年比 73 箇所増)	
後	岩見沢市	54		ニセコ町	194	渡	知内町	32	上	幌加内町	8	十	雄武町	50
	夕張市	16		真狩村	20		木古内町	61	川	(上川計)	1,073		(ホ-ツ計)	2,252
	美唄市	6		留寿都村	7		北斗市	106		留萌市	28		帯広市	61
	芦別市	93	後	喜茂別町	13		七飯町	72		増毛町	16		音更町	105
	赤平市	13		京極町	12		鹿部町	6		小平町	19		士幌町	40
	三笠市	12		俱知安町	21		森町	51		苫前町	15		上士幌町	74
	滝川市	10		共和町	31		八雲町	99		羽幌町	32		鹿追町	51
	砂川市	19		岩内町	13		長万部町	48		初山別村	7		新得町	30
	歌志内市	0		泊村	33		(渡島計)	951		遠別町	5		清水町	36
	深川市	78		神恵内村	10	島	江差町	64		天塩町	43		芽室町	65
志	南幌町	0		積丹町	17		上ノ国町	90		(留萌計)	165		中札内村	5
	奈井江町	22	志	古平町	11		厚沢部町	54		稚内市	140		更別村	16
	上砂川町	0		仁木町	24		乙部町	111		猿払村	18		大樹町	32
	由仁町	37		余市町	64		せたな町	70		浜頓別町	20		広尾町	21
	長沼町	61		赤井川村	66		奥尻町	32	宗	中頓別町	8		幕別町	132
	栗山町	37		(後志計)	804		今金町	59		枝幸町	71		池田町	58
	月形町	8		室蘭市	37		(檜山計)	480		豊富町	16		豊頃町	52
	浦臼町	48		苫小牧市	280		旭川市	216		礼文町	55		本別町	99
	新十津川	15	胆	登別市	33		士別市	47	谷	利尻町	11		足寄町	114
	妹背牛町	4		伊達市	89		名寄市	150		利尻富士町	20		陸別町	55

・詳しい埋蔵文化財包蔵地の位置は「北の遺跡案内」をご覧ください。→

<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm>

(2) 平成 26 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と北海道実施の所在・試掘調査一覧

	件数	面積
埋蔵文化財保護のための事前協議	79	
平成 26 年度北海道実施の所在調査	76	7,096.214
平成 26 年度北海道実施の試掘調査	53	209.117

(3) 平成 26 年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧

管内	所在調査		試掘調査		管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積	件数	面積		件数	面積	件数	面積
空知	11	701.688	4	3.098	上川	8	434.260	4	9.302
石狩	2	60.065	5	56.552	留萌	4	258.311	5	11.830
後志	4	40.054	3	18.570	宗谷	0	0.000	1	3.000
胆振	7	206.501	10	16.730	檼ツツ	12	2,812.973	5	44.604
日高	4	349.806	1	2.600	十勝	18	2,209.731	9	22.055
渡島	3	16.487	4	8.897	釧路	2	5.139	1	7.880
檜山	0	0.000	0	0.000	根室	1	1.200	1	4.000

(4) 平成 26 年度管内別発掘調査一覧

管内	件数	調査面積	管内	件数	調査面積
空知	3	4,989 m ²	上川	1	76 m ²
石狩	22	24,423 m ²	留萌	0	—
後志	4	5,646 m ²	宗谷	5	4,748 m ²
胆振	16	48,020 m ²	檼ツツ	8	3,614 m ²
日高	2	3,058 m ²	十勝	2	83 m ²
渡島	15	35,330 m ²	釧路	2	13 m ²
檜山	1	81 m ²	根室	3	3,478 m ²
			合計	84	133,559 m ²

・平成 26 年度の発掘調査の概要は→

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h26gaiyou.htm>

(5) 平成 26 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数

条項	内訳（指示事項別）					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 93 条	0	4	32	7	0	43
法第 94 条	0	28	58	14	0	100

※北海道教育委員会に届出等のあったものです。

(6) 平成 26 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等

条項	内訳（指示事項別）					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 96 条	0	0	0	0	0	0
法第 97 条	0	0	0	0	0	0

※ 北海道教育委員会に届出等のあったものです。

(7) 平成 26 年度出土文化財認定件数と出土遺物量

認定機関	認定件数	発見通知	合計(件数)	合計(箱数)
北海道教育委員会	90	1	91	1,978 箱
政令市・中核市	6	14	20	303 箱

(8) 平成 26 年度出土文化財譲与件数

	市町村数	件数	箱数
出土文化財譲与	40	203	4,946 箱

※ 箱数は概ね 60 cm×40 cm×15 cmに換算したものです。

(2) 平成 26 年度北海道文化財保護審議会

北海道教育委員会では、附属機関として北海道文化財保護審議会を設けています。この審議会は、北海道教育委員会の諮問に応じて文化財の保存・活用に関する重要な事項について調査審議し、教育委員会に意見を述べます。

審議会の委員は、学識経験者や文化財と関連の深い行政機関の職員から、教育委員会が任命します。現在、審議会は 15 名の委員で構成されています。

北海道文化財保護審議会の会議の傍聴については、会議の前日までに、申込先に、「住所」「氏名」「年齢」「連絡先」を申し出て、許可を受けると傍聴することができます。

なお、「非公開」の議題は傍聴できません。

- ・申込先：北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課文化財保護グループ
直通電話 (011)204-5749 FAX (011)232-1076

平成 26 年度は次のとおり開催しました。

開催年月日	時 間	場 所	審 議 内 容
平成 26 年 9 月 17 日(水)	13 : 30 ～16 : 00	北海道庁別館 8 階 1 号会議室	・文化財指定・登録の状況について ・文化財の指定録に向けた取組について
平成 27 年 3 月 16 日(月)	14 : 00 ～16 : 30	北海道庁 赤れんが庁舎 2 階 1 号会議室	・文化財指定・登録の状況について ・「北海道家庭学校礼拝堂」の有形文化財の指定について

(3) 北海道文化財保護審議委員一覧

(平成 27 年 3 月 31 日現在) (任期：平成 26 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

氏 名	所 属 等
乾 淑 子	東海大学教授
岩 澤 孝 子	北海道教育大学准教授 (岩見沢校)
臼 杵 勲	札幌学院大学教授
大 原 雅	北海道大学大学院教授
大 原 昌 宏	北海道大学総合博物館教授
鈴 木 幸 人	北海道大学准教授
小 杉 康	北海道大学大学院教授
駒 木 定 正	北海道職業能力開発大学校特任教授
澤 村 寛	足寄動物化石博物館館長
土 屋 周 三	元小樽市総合博物館館長
中 村 和 之	函館工業高等専門学校教授
早矢仕 有 子	札幌大学教授
本 田 優 子	札幌大学副学長

山 崎 弘 善	北海道開発局開発監理部長
中 村 毅	北海道森林管理局計画保全部長

・北海道文化財保護審議会について→

<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/hogoshingikai.htm>

(4) 平成 26 年度銃砲刀剣類登録審査会

平成 26 年度の銃砲刀剣類登録審査会を次のとおり 4 回開催しました。

審査年月日	時 間	場 所
平成 26 年 6 月 24 日 (火)	10 : 00～15 : 00	道庁別館地下 1 階大会議室(札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 26 年 8 月 29 日 (金)	10 : 00～15 : 00	北海道上川合同庁舎 302 号会議室(旭川市永山 6 条 19 丁目)
平成 26 年 11 月 18 日 (火)	10 : 00～15 : 00	道庁別館地下 1 階大会議室(札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 27 年 2 月 17 日 (火)	10 : 00～15 : 00	道庁別館地下 1 階大会議室(札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)

(5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

(任期：平成 26 年 6 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日)

銃砲刀剣類登録審査委員	審査会場
伊 藤 寛	旭川(8 月)、札幌(2 月)
川 合 喜與文	札幌(6 月、11 月、2 月)
梶 睦	札幌(6 月、2 月)
野 波 明 利	旭川(8 月)、札幌(11 月)
石 井 利 明	札幌(6 月、11 月)

(6) 北海道立埋蔵文化財センター

① 入館者

平成 26 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入館者数	1150	967	1207	1296	1291	825	903	686	344	413	283	381	9,746

② 資料等の閲覧・貸出等件数

平成 26 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	15	3	2	9	3	5	3	8	10	10	5	10	83

③ 事業別参加人数

区分	事業名	開催日	参加人数
講演会等	平成 25 年度発掘調査報告会	平成 26 年 4 月 19 日	93 人
	夏季講演会	平成 26 年 7 月 12 日	66 人
	秋季講演会	平成 26 年 10 月 18 日	92 人

	ものづくりの考古学 1. ガラス玉	平成 26 年 6 月 14 日	15 人
考古学教室	はじめての考古学. 縄文文化と世界遺産 1	平成 26 年 7 月 5 日	41 人
	はじめての考古学. 縄文文化と世界遺産 2	平成 26 年 8 月 9 日	20 人
	ものづくりの考古学 2. 石器づくり入門	平成 26 年 11 月 15 日	15 人
	埋文センター発掘物語	平成 26 年 11 月 29 日	86 人
こども考古学教室	親子ガラス玉づくり教室	平成 26 年 6 月 21 日	11 人
	夏休み自由研究教室(第 1 次)	平成 26 年 7 月 26 日	7 人
	夏休み自由研究教室(第 2 次)	平成 26 年 8 月 2 日	11 人
	冬休み自由研究教室(第 3 次)	平成 27 年 1 月 10 日	8 人
	冬休み自由研究教室(第 4 次)	平成 27 年 1 月 17 日	9 人
研修会	平成 26 年度埋蔵文化財担当職員出前研修会	平成 26 年 9 月 4 日	8 人
	平成 26 年度埋蔵文化財担当職員研修会	平成 26 年 12 月 12 日	22 人

④ 平成 26 年度テーマ展日程

展 示 名		展示期間
1	(公財)北海道埋蔵文化財センター 「北の縄文ー縄文探訪と縄文工房ー」展	平成 26 年 6 月 28 日～10 月 5 日
2	北海道遺跡百選 7 「八雲町野田生 1 遺跡と注口土器群ー注口土器群の出土状況から見た縄文時代後期集落ー」	平成 26 年 10 月 25 日～27 年 3 月 1 日
3	(公財)北海道埋蔵文化財センター 平成 25 年度発掘調査成果展	平成 26 年 3 月 29 日～6 月 15 日
4	世界遺産をめざす北の縄文展	通 年

⑤ 平成 26 年度考古学教室出前講座一覧

[事業分]

市町村	実施場所	実施日	参加人数
白糠町	白糠町立庶路小学校	平成 26 年 5 月 21 日	24 名
浦幌町	浦幌町立博物館	平成 26 年 7 月 20 日	16 名
根室市	根室市立厚床小学校	平成 26 年 9 月 19 日	11 名
厚岸町	厚岸町立真龍小学校	平成 26 年 9 月 20 日	28 名
上川町	上川町かみんぐホール	平成 26 年 9 月 20 日	7 名
木古内町	木古内町立中央公民館	平成 26 年 10 月 4 日	19 名
置戸町	置戸町中央公民館	平成 26 年 10 月 25 日	15 名

(7) 文化財情報の発信

文化財の価値や魅力を子どもたちや道民に広く知ってもらうため、北海道教育委員会のホームページで文化財情報の発信を行いました。

主な文化財情報は次のとおりです。ぜひ、アクセスしてみてください。

ホームページタイトル	公開日	主 な 内 容
北の遺跡案内	平成 16 年～ (年 4 回更新)	北海道内に所在する埋蔵文化財包蔵地の位置を地図上に示し、あわせて遺跡名、所在地、時期、出土遺物などの遺跡情報を公開しています。
		U R L : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm
出土文化財を見ることができる主な博物館・資料館	平成 20 年 1 月 30 日	国指定や道指定などの文化財を展示・公開している博物館・郷土資料館について、主な見どころと所在地などを紹介しました。
		U R L : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/19museum-guide.htm
文化財まる知ナビ	平成 20 年～ (随時更新)	文化財に関する情報をニュースレター形式で分かりやすく解説したものです。年 5 回程度刊行しています。
		U R L : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bunkazaimaruchinabi.htm
平成 25 年度北海道文化財年報	平成 26 年 7 月 4 日	平成 25 年度の北海道における文化財保護の動き、現状についてわかりやすくまとめ、公開しました。
		U R L : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/25bunkazai-nenpo.htm
平成 26 年度文化財保護強調月間	平成 26 年 9 月 26 日	北海道文化財強調月間(10 月 8 日～11 月 7 日)期間中に開催された文化財公開・活用事業ガイドブックを公開するとともに、小学生～高校生が応募したキャッチフレーズやシンボルマークを掲載しました。
		U R L : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkkan.htm
市町村における発掘調査の概要(平成 26 年度版)	平成 27 年 3 月 2 日～	平成 26 年度に市町村教育委員会が実施した発掘調査について紹介しました。
		U R L : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/maibunsen.htm
もっと知ろう身近な文化財(指定文化財概要一覧)	平成 21 年 12 月 16 日～ (随時更新)	国指定・道指定の概要について画像とともに紹介しています。
		U R L : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/shiteibunnkazaijoho.htm
「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録をめざして	平成 21 年 8 月 7 日～ (随時更新)	「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録にむけたフォーラムや特別展などの取組について紹介しました。
		U R L : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/wh.htm

(8) 文化財関係機関・団体リンク

1	文化庁	http://www.bunka.go.jp/
2	北海道環境生活部局くらし安全局 文化・スポーツ課	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/index.htm
3	公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	http://www.domaibun.or.jp/
4	北海道文化財保護協会	http://hokkaido-bunkazai.jp/